

吹田市下水道年報

令和7年度（2025年度）版

2026年3月設置 デザインマンホール蓋

目 次

1 あゆみ

(1) 吹田市公共下水道のあゆみ	1
(2) 年表	2

2 下水道計画と整備状況

(1) 計画概要	4
ア 計画区域	4
イ 汚水処理計画	5
ウ 雨水排除計画	6
(2) 計画面積及び人口	7
ア 単独公共下水道	7
イ 流域関連公共下水道	7
(3) 都市計画、事業認可及び事業計画の経過	8
ア 都市計画の経過	8
イ 都市計画法事業認可の経過	9
ウ 下水道法事業計画の経過	12
(4) 普及状況	15
ア 人口普及率	15
イ 全市域人口普及率推移	15
ウ 面積普及率	16
エ 全市域面積普及率推移	16

3 下水道施設の計画と概要

(1) 管渠及びマンホールポンプ施設の概要	17
ア 主要な管渠の位置図	17
イ 管渠整備延長	18
ウ マンホールポンプ主要仕様・設置個所一覧	20
(2) 下水道法事業計画（処理場・ポンプ場）	21
ア 処理施設	21
イ ポンプ施設	21

(3)	下水処理場の概要	22
ア	川面水再生センター	22
イ	南吹田水再生センター	23
(4)	ポンプ場の概要	24
ア	川園ポンプ場	24

4 下水道施設の維持管理

(1)	下水処理場の維持管理	25
ア	維持管理実績	25
イ	水質試験結果	31
ウ	廃棄物試験結果	37
(2)	管渠管理延長	38
ア	布設年度別延長	38
イ	管渠管理延長	38
(3)	管渠等の改築・修繕及び維持管理	39
ア	改築	39
イ	修繕	39
ウ	清掃	39
エ	点検・調査	39
オ	耐震化	39

5 水洗化の普及

(1)	水洗便所改造等助成及び融資あっ旋制度	40
ア	水洗便所改造等助成金制度の推移	40
イ	水洗便所改造等融資あっ旋制度の推移	40
(2)	水洗便所改造等助成金、融資あっ旋の状況	41
(3)	水洗化普及状況	42

6 河川及び水路

(1)	主な水路一覧	43
(2)	主なため池一覧	43
(3)	主な樋門一覧	43
(4)	雨水ポンプ場	44
(5)	水路改良工事	44
(6)	水路等の維持管理	44
(7)	水路等の位置図	45

7 下水道事業の財政

(1)	下水道使用料	46
ア	料金体系の推移	46
イ	有収水量及び調定額の年度別状況	47
(2)	受益者負担金	48
ア	負担区の状況	48
イ	年度別収入状況	49
(3)	企業債残高の推移	50
(4)	収益的収支	51
(5)	資本的収支	53
(6)	貸借対照表	55
(7)	財務経営指標	57

8 浸水対策事業

(1)	雨水レベルアップ整備事業	59
ア	事業の概要	59
イ	事業の経過	60
ウ	事業実施の効果	61
(2)	雨水整備率	62
(3)	その他浸水対策	62
ア	止水板設置助成状況	62
イ	土のう配付	62
ウ	内水浸水シミュレーション	62
エ	上の川調節池	62
(4)	浸水被害状況	62

9 安威川流域下水道の概要

(1)	事業の概要	63
(2)	安威川流域下水道の計画内容及び実施状況	64
ア	全体計画及び事業計画内容	64
イ	都市別内訳	64
ウ	施設内容	64

10 組織と職員

(1)	組織	67
(2)	職員	67

11 広報「見える化」

(1)	広報媒体設置	68
ア	デザインマンホール蓋	68
イ	大阪・関西万博機運醸成デザインマンホール蓋	68
(2)	広報活動	69
ア	マンホールカード配布	69
イ	「下水道の日」パネル展	69
ウ	下水道フェア	70
エ	下水道展	70
オ	デジタルスタンプラリー	70
カ	大阪マンホールEXPO	70
キ	ゆいぴあ夏まつり	70
ク	スタジアムフェスタ	71
ケ	その他	71
(3)	広報誌掲載等	71
ア	市報「すいた」	71
イ	TV放送等	71
(4)	見学会等	72
ア	水再生センター施設見学	72
イ	工事現場見学会	72
ウ	夏休み特別講座	72
エ	出前授業	72
(5)	広報素材	73
(6)	SNS活用	73
(7)	官学連携	74

下水道の必要なる理由

本市に於ける排水路の現況は町制当時、即ち昭和十五年以前に築造せられたるものにして、断面均配不整序のために疏通を欠き、汚泥は充溢し、悪臭は推し、排水不能の箇所ありて、降雨毎に随所に汚濁水は路上に氾濫し浸水被害を現出し、近年の豪雨続出による被害は極めて甚大である。依って浸水による道路復旧費等は年々増加せること下表の如し、尚一面汚濁水の停滯は環境衛生の障害となり、勢い伝染病の蔓延甚だしく其罹患率は他都市に比して高く、下表の如くにして誠に堪えざるものなり、故にこれが対策として下水道築造を必要とするものである。

吹田市法定伝染病発生件数年次表

年次	件数	計	備考
昭和二十一年	1	1	
昭和二十二年	2	2	
昭和二十三年	3	3	
昭和二十四年	4	4	
昭和二十五年	5	5	
昭和二十六年	6	6	
昭和二十七年	7	7	
昭和二十八年	8	8	
昭和二十九年	9	9	
昭和三十年	10	10	

1 あゆみ

吹田市第一事業下水道築造計画説明書

大阪府 吹田市

1 あゆみ

(1) 吹田市公共下水道のあゆみ

本市の下水道事業は、昭和 34 年度（1959 年度）に、市南部地域において最も緊急の課題であった浸水対策事業として、ポンプ場用地の買収と幹線管渠整備工事に着手したのが始まりです。昭和 36 年度（1961 年度）にはポンプ場整備に着手し、その後、同ポンプ場に処理施設を設けて川面下水処理場に名称を変更し、計画区域を拡大しながら、新たに川園ポンプ場も設けることとなりました。

一方、大阪府は、昭和 35 年（1960 年）に千里ニュータウンの建設にあたり下水道整備を進め、その終末処理場として正雀下水処理場を隣接する摂津市に設けました。その後、昭和 48 年（1973 年）に本市に引き継がれました。しかし、将来の敷地内更新が困難と判断し、流域下水道への編入を進め、平成 25 年（2013 年）にその機能を停止しました。

また、昭和 40 年（1965 年）には豊津及び泉町において土地区画整理事業が施行されることにより、南吹田下水処理場の整備とともに土地区画整理事業区域内の管渠整備も行いました。

その後、昭和 42 年（1967 年）に大阪府において本市域を含めた安威川流域下水道の計画が策定され、処理場整備（現在の中央水みらいセンター）にあわせて本市の流域関連公共下水道区域内の管渠整備も進められました。

着手から「生活環境の改善」、「浸水の防除」、「公共用水域の水質保全」を目標に整備を進めた結果、平成 23 年度（2011 年度）末には人口普及率（污水系）が 99.9%に達し、市内のほぼ全域でトイレを水洗化できるようになるなど、下水道事業は衛生的な生活環境の実現に寄与してきました。

しかし、全市の水洗化を優先課題として取り組んだことから、浸水防除のための雨水施設整備については、污水施設に比べて整備率が低くなっています。特に、南部地域では集中豪雨の際に浸水被害が頻発しているため、雨水レベルアップ整備計画などの浸水対策に取り組んでいます。

また、「建設」から「維持管理」への転換期を迎え、老朽化対策として平成 29 年度（2017 年度）に「下水道ストックマネジメント計画」を、地震対策として平成 30 年度（2018 年度）に「下水道総合地震対策計画」を策定するなど、各種対策への取り組みを進めています。

管路の維持管理には、今後の老朽化への取り組みを充実させるべく、令和 3 年度（2021 年度）から包括的民間委託を導入しており、令和 6 年度（2024 年度）からは第 2 期業務を継続して実施しています。民間の力を活用することにより、ワンストップでの市民対応とともに計画的な管路施設の点検・調査を行っています。

このような中、経営の透明化、安定化を図ることを目的として、平成 29 年（2017 年）4 月 1 日から地方公営企業法の一部（財務規定等）を適用し、特別会計から地方公営企業会計に移行しました。平成 31 年（2019 年）には「吹田市下水道事業経営戦略 2019」を策定しました。令和 5 年度（2023 年度）には「吹田市下水道事業経営戦略 2019」の中間見直しを実施し、5 年間の社会情勢の変化などを分析、反映した改訂版を策定しました。

今後とも、市民生活になくてはならないインフラのひとつである下水道を持続可能な事業として運営し努めていくことが重要です。そのために、普段は見えにくく意識されにくい下水道の役割や課題、魅力などを積極的に発信していく“見せる化”についても取り組みます。

(2) 年 表

昭和	33年 12月	初めて第1ポンプ場及び第1排水区（現川面処理区）の事業計画の認可を受ける
	35年 1月	下水道整備工事に着手
	37年 3月	千里ニュータウン区域の汚水処理のため正雀下水処理場を大阪府企業局が摂津市域に計画
	37年度	川面下水処理場雨水ポンプの運転を開始
	38年 8月	正雀下水処理場の運転を開始
	40年 3月	建設省令第12号に基づき受益者負担制度を施行
	41年 4月	吹田市下水道条例を制定
	7月	川面下水処理場の簡易処理を開始
	43年 7月	南吹田下水処理場雨水ポンプの運転を開始
	12月	川園ポンプ場の運転を開始
	44年 11月	安威川流域下水道組合（吹田市・高槻市・摂津市・茨木市・箕面市・島本町）が設立
	45年 3月	安威川流域中央下水処理場の運転を開始
	12月	安威川流域下水道組合が安威川・淀川右岸流域下水道組合に改称
	46年 7月	川面下水処理場の高級処理を開始
	8月	南吹田下水処理場の簡易処理を開始
	48年 4月	大阪府より千里丘陵住宅地区の下水道施設（正雀下水処理場を含む）を引継ぐ 吹田市下水道事業受益者負担に関する条例を制定
	5月	初めて中央処理区（安威川流域関連公共下水道）の事業計画の認可を受ける
	7月	南吹田下水処理場の第1期工事が完成。高級処理を開始
	51年 4月	下水道使用料を改定し、累進制及び水質使用料を導入
平成	55年 3月	吹田市公共下水道整備納入金要綱を制定 下水道使用料を改定
	59年 4月	下水道使用料を改定
	2年 3月	南吹田下水処理場の第2期工事が完成。日最大87,600m ³ の処理が可能に
	4月	デザインマンホール蓋を採用
	5年 3月	川面下水処理場の最終沈殿池を増設。日最大40,800m ³ の処理が可能に
	8年 3月	下水道使用料を改定
	10年 3月	新世代下水道支援事業として川面下水処理場に処理水利用施設を設置
	12年 4月	雨量・水位監視システム(雨量計4か所、水位計1か所)の運用を開始
	12月	大阪府により大阪湾流域別下水道整備総合計画が策定
	13年 4月	雨量・水位監視システムに水位計2か所を追加
	15年 4月	上の川調節池（大阪府河川施設・吹田市管理）の運用を開始
	16年 3月	下水道使用料を改定
	17年 3月	合流式下水道緊急改善計画（川面処理区・南吹田処理区）を策定
	6月	雨水レベルアップ整備事業（豊津工区）に着手
	10月	下水処理場・ポンプ場の遠方監視システムの運用を開始
	19年 3月	新世代下水道支援事業として谷上池雨水浸透貯留施設を設置

	20年	3月	安威川・淀川右岸流域下水道組合が解散
		4月	安威川・淀川右岸流域下水道協議会が設立
		5月	新世代下水道支援事業として雨水貯留タンク設置助成制度（5割助成）を開始
	21年	6月	市制施行70周年記念事業として、雨水貯留タンク普及促進事業（9割助成）を開始
		10月	雨水レベルアップ整備事業（豊津工区）の雨水貯留管及び江の木公園ポンプを供用開始
	22年	9月	南吹田下水処理場の汚泥焼却施設の運転を停止
		10月	下水道長寿命化計画（正雀処理区正雀川処理分区）を策定
	23年	3月	市制施行70周年記念事業として実施した、雨水貯留タンク普及促進事業（設置費用の助成等）を完了（平成21年度：629基、平成22年度：978基）
		4月	南吹田下水処理場の高度処理の供用を開始
	24年	3月	下水道長寿命化計画（南吹田下水処理場）を策定
		6月	南吹田下水処理場 合流式下水道緊急改善事業 雨水滞水池設置工事に着手
		9月	川面下水処理場 合流式下水道緊急改善事業 雨水滞水池設置工事に着手
	25年	2月	下水道長寿命化計画（川面下水処理場・川園ポンプ場）を策定
		9月	正雀下水処理場の運転を停止
	26年	3月	新世代下水道支援事業として吹田操車場跡地周辺に高度処理水の送水設備を設置
		4月	川園ポンプ場 合流式下水道緊急改善事業 雨水滞水池（旧流量調整池）を供用開始
	27年	2月	下水道長寿命化計画（中央処理区高川処理分区）を策定
		3月	川園ポンプ場の岸部ポンプ場送水受入を終了（安威川流域下水道岸部幹線の供用開始）
		4月	南吹田下水処理場・川面下水処理場 合流式下水道緊急改善事業 雨水滞水池を供用開始
	28年	2月	下水道長寿命化計画（南吹田下水処理場・川園ポンプ場）を策定
		3月	雨水貯留タンク設置助成制度を廃止
		4月	吹田市公共下水道整備納入金要綱を廃止 止水板設置助成制度を開始
		5月	雨水レベルアップ整備事業（中の島・片山工区）に着手
	29年	4月	地方公営企業法の一部（財務規定等）適用を開始
		12月	吹田市下水道ストックマネジメント計画を策定
	31年	1月	吹田市下水道総合地震対策計画を策定
		3月	吹田市下水道事業経営戦略を策定 吹田市下水道業務継続計画（BCP）を策定
令和	2年	3月	下水処理場の愛称を川面水再生センター、南吹田水再生センターに決定
	3年	4月	下水道管路施設における包括的民間委託を開始
	4年	3月	吹田市耐水化計画を策定
		12月	大阪下水道広報ぱらっとホーム推進チームにコアメンバーとして参画
	6年	3月	吹田市下水道事業経営戦略の中間見直し版を策定
		4月	雨水レベルアップ整備事業（中の島・片山工区）の雨水貯留管及び中の島公園ポンプの供用を開始 下水道管路施設における包括的民間委託が2期目（5年）開始
	7年	1月	吹田市上下水道耐震化計画を策定
		3月	雨量・水位監視システム(雨量計2か所、水位計2か所)を撤去
	8年	2月	雨水出水浸水想定区域の指定及び公表



2 下水道計画と整備状況

2 下水道計画と整備状況

(1) 計画概要

下水道施設は、上位計画や、将来の土地利用、人口などの状況を考慮して全体計画を定め、段階的に事業を実施するための事業計画を策定しています。

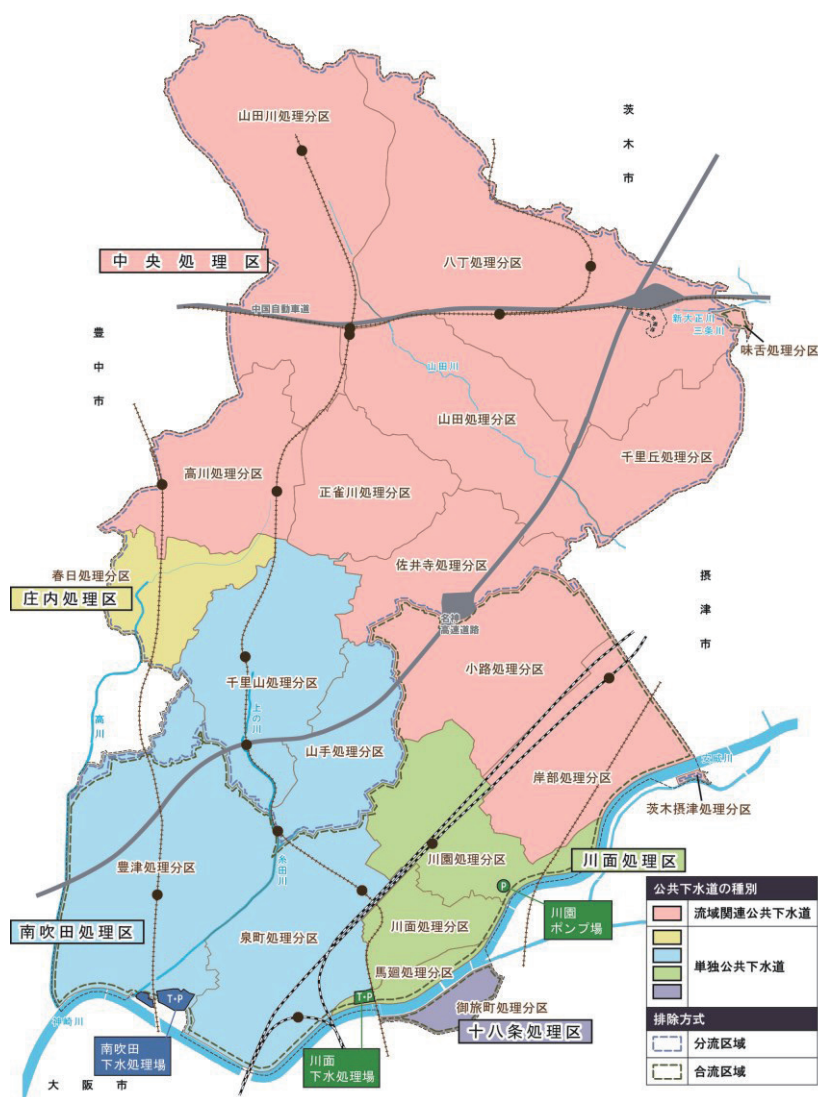
ア 計画区域

河川等を除く全市域（約 3,582ha）を公共下水道による計画区域としており、市域の約 38%（約 1,361ha）が「単独公共下水道区域」です。川面・南吹田の2処理区は、それぞれ吹田市の水再生センターで、庄内・十八条の2処理区は、各々、豊

中市と大阪市の下水処理場で処理しています。

また、市域の約 62%（約 2,221ha）は「流域関連公共下水道区域」であり、中央処理区として、茨木市にある大阪府の安威川流域下水道中央水みらいセンターで処理しています。

処理区・処理分区

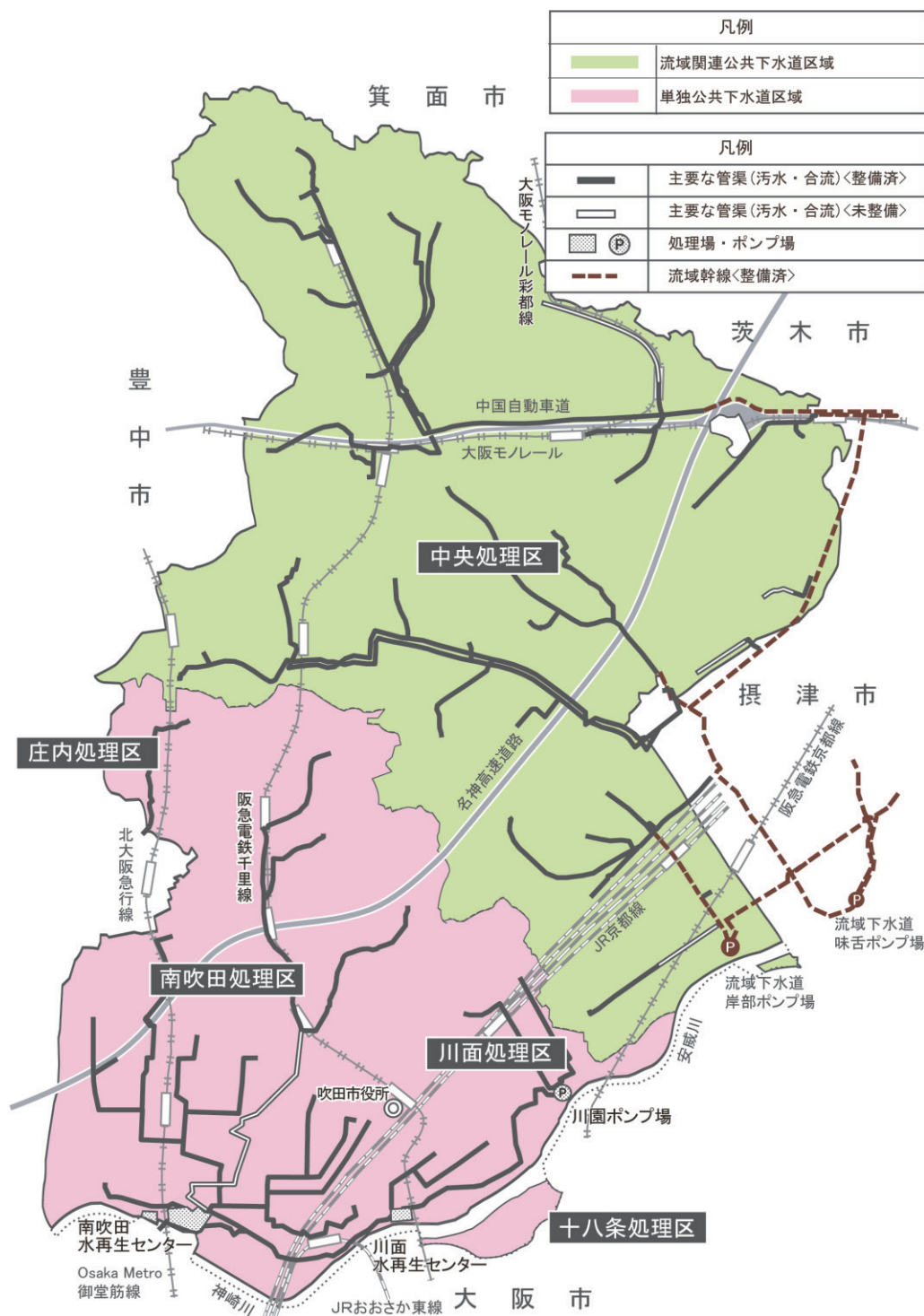


イ 汚水処理計画

汚水処理については、将来の1人当たりの汚水量や事業所排水量などを想定して汚水量や汚濁負荷量などを定め、上位計画や法令に基づく水質基

準を満たすよう各施設を計画し、水洗化による生活環境の改善や、河川の水質保全に努めています。

主要な管渠（汚水・合流）・施設

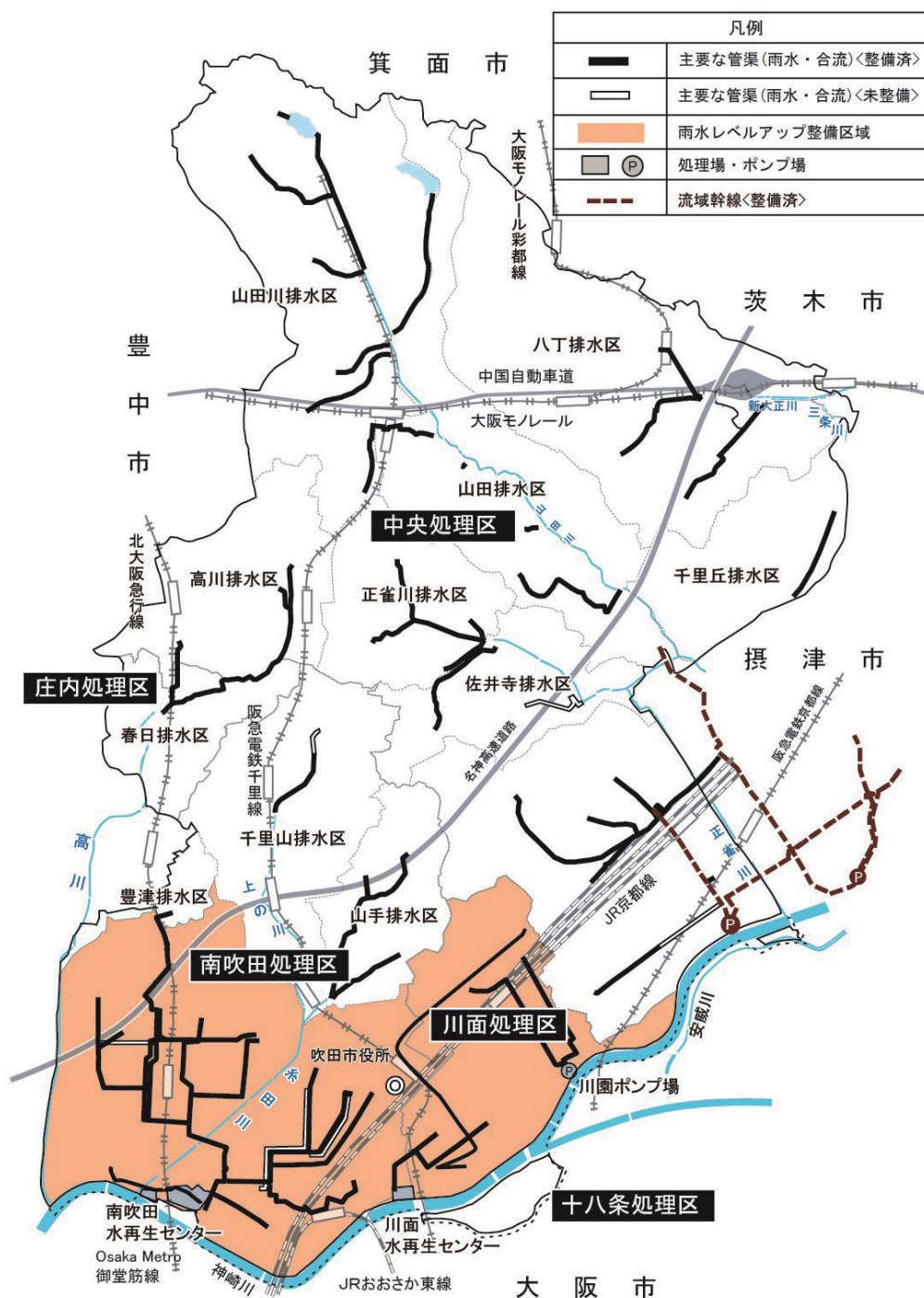


ウ 雨水排除計画

雨水排除については、目標とする降雨の規模を設定し、対象地域における将来の土地利用状況を想定して雨水の流出量を定め、浸水が発生させないように施設を計画しています。

現在、吹田市では、10年に1回程度の確率で発生する大雨に対して安全な施設の整備を目標としています。

主要な管渠（雨水・合流）・施設



(2) 計画面積及び人口

ア 単独公共下水道

処 理 区 名	分 区 名	全体計画 面積 (ha)	全体計画 人口 (人)	事業計画 人口 (人)	摘 要
川 面 処 理 区	川 面 処 理 分 区	65.61	9,720	9,720	合流式
	川 園 処 理 分 区	153.26	20,810	20,810	合流式
	馬 廻 処 理 分 区	21.20	1,370	1,370	合流式
	計	240.07	31,900	31,900	
南 吹 田 処 理 区	泉 町 処 理 分 区	243.43	23,440	23,440	合流式
	豊 津 処 理 分 区	384.14	42,930	42,930	合流一部分流式
	山 手 処 理 分 区	130.52	16,070	16,070	分流式
	千 里 山 処 理 分 区	227.80	26,350	26,350	分流式
	計	985.89	108,790	108,790	
十 八 条 処 理 区	御 旅 町 処 理 分 区	29.38	1,290	1,290	合流式(大阪市へ流入)
庄 内 処 理 区	春 日 処 理 分 区	106.07	15,570	15,570	分流式(豊中市へ流入)
単独公共下水道 合計		1,361.41	157,550	157,550	

イ 流域関連公共下水道

処 理 区 名	分 区 名	全体計画 面積 (ha)	全体計画 人口 (人)	事業計画 人口 (人)	摘 要
中 央 処 理 区	八 丁 処 理 分 区	530.95	17,088	13,838	分流式
	山 田 処 理 分 区	241.90	35,064	35,645	分流式
	岸 部 処 理 分 区	183.52	13,485	13,686	合流式
	千 里 丘 処 理 分 区	142.53	27,724	20,985	分流式
	山 田 川 処 理 分 区	442.00	32,187	32,837	分流式
	小 路 処 理 分 区	215.08	26,404	24,019	合流式
	味 舌 処 理 分 区	4.50	459	135	合流式
	茨 木 摂 津 処 理 分 区	1.27	146	185	分流式
	高 川 処 理 分 区	169.00	22,004	19,090	分流式
	正 雀 川 処 理 分 区	150.00	11,689	11,590	分流式
	佐 井 寺 処 理 分 区	139.87	19,200	22,340	分流式
流 域 関 連 公 共 下 水 道 合 計		2,220.62	205,450	194,350	
合 計		3,582.03	363,000	351,900	

(3) 都市計画、事業認可及び事業計画の経過

ア 都市計画の経過

	計画決定年月日 告示番号	変更内容
創 設	昭和34年9月16日 建設省告示第1771号	第1排水区約65.612ha、延長24,749.50m、第1ポンプ場敷地1.3587ha
第1回変更	昭和37年3月19日 建設省告示第660号	正雀川排水区約154ha・高川排水区約61ha、延長51,198m
第2回変更	昭和38年9月12日 建設省告示第2387号	正雀川排水区約156ha・高川排水区約55ha・山田川排水区約451ha
第3回変更	昭和39年3月31日 建設省告示第1073号	第1排水区→川面排水区約65.612ha・川園排水区約153.262ha、延長33,274.5m 第1ポンプ場→川面処理場(編入)・川園ポンプ場敷地約0.6231ha、川面処理場敷地約1.5052ha
第4回変更	昭和40年3月31日 建設省告示第1039号	正雀川排水区約156ha・高川排水区約180ha・山田川排水区約451ha
第5回変更	昭和40年11月10日 建設省告示第3150号	川面・川園排水区約218.9ha・豊津・泉町排水区約279.7ha、延長19,610m、 川園ポンプ場約0.62ha、川面処理場約1.51ha・南吹田処理場約4.73ha
第6回変更	昭和42年11月6日 建設省告示第3679号	川面・川園排水区約218.9ha・豊津・泉町排水区約771.5ha、延長34,780m、 川園ポンプ場約0.69ha、川面処理場約1.51ha・南吹田処理場約4.98ha
第7回変更	昭和44年3月4日 建設省告示第465号	川面・川園・馬廻排水区約240.1ha・豊津・泉町・千里山・春日排水区約1,080.0ha・ 御旅町排水区約29.4ha・正雀川・高川・山田川排水区約787.0ha、 延長84,120m、川園ポンプ場約0.7ha・春日ポンプ場約0.1ha・高川中継ポンプ場約 0.1ha、川面処理場約1.5ha・南吹田処理場約5.0ha・正雀処理場約4.5ha
第8回変更	昭和45年4月14日 吹田市告示第13号	南吹田処理区延長287,390m、処理面積1,349.5ha 川面処理場汚泥を南吹田処理場へ圧送
第9回変更	昭和46年7月23日 吹田市告示第23号	流域関連他の処理面積を追加 処理面積3,576.3ha、延長667,870m、 庄内処理区・春日ポンプ場の廃止
第10回変更	昭和56年7月22日 吹田市告示第62号	下水道の名称の変更:○○排水区→吹田市○○処理区公共下水道 岸部・千里丘・山田・八丁排水区を安威川流域関連に変更 川面約240ha・南吹田約986ha・正雀約1,113ha・十八条約29ha・庄内約106ha ・安威川流域関連公共下水道約1,102ha、延長710,930m、 川園ポンプ場約6,943㎡・高川ポンプ場約1,200㎡、川面下水処理場約18,555㎡ ・南吹田下水処理場約51,330㎡・正雀下水処理場約45,000㎡
第11回変更	昭和59年2月14日 吹田市告示第15号	南吹田処理区・南吹田下水処理場の敷地面積変更 南吹田下水処理場 51,330㎡→99,450㎡
第12回変更	昭和59年11月5日 吹田市告示第165号	正雀処理区・正雀前処理場の追加 正雀前処理場約2,000㎡
第13回変更	昭和63年3月2日 吹田市告示第31号	正雀処理区・処理区の変更、安威川流域関連へ追加 吹田市正雀処理区公共下水道約459ha・吹田市安威川流域関連公共下水道約 1,762ha、延長397,720m
第14回変更	平成2年2月24日 吹田市告示第28号	庄内処理区・春日幹線ルート変更 中央処理区・山田1号幹線、山田2号幹線ルート変更
第15回変更	平成5年2月26日 吹田市告示第29号	幹線管渠表示方法の変更(20ha→100ha)(市全域)、市全域:延長11,500m 正雀下水処理場の汚水調整池の設置等
第16回変更	平成11年12月10日 吹田市告示第332号	幹線管渠表示方法の見直し(100ha→1,000ha)(市全域)、市全域:延長6,410m
第17回変更	平成12年10月4日 吹田市告示第297号	川面処理区・川園ポンプ場の敷地面積変更 川園ポンプ場 6,940㎡→約6,846㎡
第18回変更	平成16年12月28日 吹田市告示第444号	名称変更(全市域)吹田都市計画下水道→北部大阪都市計画下水道
第19回変更	平成25年3月29日 吹田市告示第65号	正雀下水処理場を廃止し、正雀処理区を安威川流域関連に編入 吹田市正雀処理区公共下水道(編入)0ha・吹田市安威川流域関連公共下水道約 2,221ha、高川ポンプ場(都計要件外のため廃止)、正雀下水処理場(廃止)、正雀前 処理場(廃止)

イ 都市計画法事業認可の経過

事業計画の認可年月日	内 容
告示番号	
昭和34年9月16日 建設省告示第1771号	執行年度：S34～S38 計画決定と同じ。
昭和37年3月19日 建設省告示第660号	執行年度：S36～S38、正雀処理区 計画決定と同じ。
昭和38年9月12日 建設省告示第2387号	執行年度：S36～S39、正雀処理区 計画決定と同じ。
昭和39年3月31日 建設省告示第1073号	執行年度：S34～S44 計画決定と同じ。
昭和40年3月31日 建設省告示第1039号	執行年度：S36～S40、正雀処理区 計画決定と同じ。
昭和40年11月10日 建設省告示第3150号	執行年度：S34～S46、川面・南吹田処理区 計画決定と同じ。
昭和42年11月6日 建設省告示第3679号	執行年度：S34～S48、川面・南吹田処理区 計画決定と同じ。
昭和44年3月4日 建設省告示第465号	執行年度：S34～S50 計画決定と同じ。
昭和45年6月12日 大阪府告示第790号	執行年度：S34～S50 処理面積、川面処理場から南吹田処理場へ汚泥圧送
昭和48年7月6日 大阪府告示第1017号	執行年度：S34～S53 計画人口：362,900人、処理面積：2,518.6ha
昭和54年3月28日 大阪府告示第461号	執行年度：S34～S58、川面・正雀処理区 年度延伸南吹田・十八条・中央
昭和57年4月30日 大阪府告示第608号	執行年度：S40～S63 処理区毎に分割、川面処理区の計画人口水量見直し
昭和59年3月26日 大阪府告示第352号	執行年度：S58～S61 庄内処理区 処理面積：10ha
昭和60年2月12日 大阪府告示第143号	執行年度：S40～S66 正雀前処理場追加、南吹田処理場拡張・水量見直し
昭和62年2月18日 大阪府告示第200号	執行年度：S40～S67、南吹田処理区 処理面積：836ha→986ha
昭和62年3月30日 大阪府告示第459号	執行年度：S58～S66、庄内処理区 処理面積：10ha→21ha
昭和63年2月29日 大阪府告示第235号	執行年度：S48～S68 中央処理区流域関連の年度延伸
昭和63年3月30日 大阪府告示第425号	執行年度：S34～S68 川面処理区の年度延伸
昭和63年6月27日 大阪府告示第832号	執行年度：S48～S68、全市域処理面積：3,581ha 正雀処理区：1,113ha→459ha
昭和63年6月27日 大阪府告示第833号	執行年度：S48～S68、計画人口：172,800人 中央処理区：1,102ha→1,761ha
平成2年7月2日 大阪府告示第829号	執行年度：S58～H8、庄内処理区 処理面積：21ha→106ha、計画決定（平成2年第28号）と同じ。 執行年度：S48～H8、中央処理区 処理面積：1,761ha、幹線変更
平成5年3月29日 大阪府告示第528号	執行年度：S40～H11 南吹田処理区の年度延伸 執行年度：S48～H11 正雀処理区の年度延伸、下水道法事業認可（平成4年第27号）と同じ。

事業計画の認可年月日	内 容
告示番号	
平成6年2月16日 大阪府告示第238号	執行年度：S34～H11、川面処理区 執行年度：S58～H11、庄内処理区 執行年度：S48～H11、中央処理区 年度延伸、計画決定変更(平成5年第29号)と同じ。
平成9年10月1日 大阪府告示第1481号	執行年度：S48～H15、中央処理区：1,761ha→1,762ha 茨木摂津処理分区の追加
平成12年3月31日 大阪府告示第593号	執行年度：S34～H17、川面処理区 執行年度：S40～H17、南吹田処理区 執行年度：S48～H17、正雀処理区 執行年度：S58～H17、庄内処理区 年度延伸、幹線管渠の表示変更(100ha→1,000ha)
平成16年3月30日 大阪府告示第674号	執行年度：S48～H22、中央処理区 年度延伸、幹線管渠の表示変更(100ha→1,000ha)
平成18年3月24日 大阪府告示第687号	執行年度：S34～H22、川面処理区 執行年度：S40～H22、南吹田処理区 執行年度：S48～H22、正雀処理区 執行年度：S58～H22、庄内処理区 年度延伸 事業の名称変更 $\left(\begin{array}{c} \text{吹田都市計画下水道事業} \\ \downarrow \\ \text{北部大阪都市計画下水道事業} \end{array} \right)$
平成23年3月30日 大阪府告示第437号	川園ポンプ場の区域変更(約6,940m ² →約6,846m ²) 執行年度：S34～H28、川面処理区 執行年度：S40～H28、南吹田処理区 執行年度：S48～H28、正雀処理区 執行年度：S58～H28、庄内処理区 年度延伸
平成23年3月30日 大阪府告示第438号	執行年度：S48～H24、中央処理区 年度延伸
平成25年3月29日 大阪府告示第806号	正雀処理区を安威川流域関連公共下水道へ編入するため事業期間を短縮。 執行年度：S48～H24、正雀処理区
平成25年3月29日 大阪府告示第807号	執行年度：S34～H30、川面処理区 執行年度：S40～H30、南吹田処理区 執行年度：S58～H30、庄内処理区 執行年度：S48～H30、中央処理区 処理面積1,762ha→2,221ha 年度延伸
平成27年3月27日 大阪府告示第510号	執行年度：S34～H33、川面処理区 執行年度：S40～H33、南吹田処理区 執行年度：S58～H33、庄内処理区 年度延伸
平成28年4月18日 大阪府告示第689号	執行年度：S48～H34、中央処理区 年度延伸
令和4年3月28日 大阪府告示第463号	執行年度：R3～R7、十八条処理区 認可取得
令和4年3月28日 大阪府告示第466号	執行年度：S34～R7、川面処理区 執行年度：S40～R7、南吹田処理区 執行年度：S58～R7、庄内処理区 年度延伸

事業計画の認可年月日	内 容
告示番号	
令和4年3月28日 大阪府告示第467号	執行年度：S48～R6、中央処理区 年度延伸
令和7年3月31日 大阪府告示第453号	執行年度：S48～R12、中央処理区 年度延伸
令和7年3月31日 大阪府告示第454号	執行年度：S34～R12、川面処理区 執行年度：S40～R12、南吹田処理区 執行年度：S58～R12、庄内処理区 執行年度：R3～R12、十八条処理区 年度延伸

ウ 下水道法事業計画の経過

① 単独公共下水道事業

認可年月日・認可番号	内 容
昭和33年12月24日 建設省阪計第302号	第1事業区の創設 (川面処理区)
昭和36年5月10日 厚阪衛第312号	正雀下水処理場の創設
昭和37年3月31日 建阪都第129号	正雀処理区の創設
昭和37年6月11日 厚発環第190号	正雀下水処理場の拡張
昭和38年5月31日 建阪都第223号	正雀処理区
昭和38年11月20日 建阪都第144号	正雀処理区
昭和39年3月6日 建阪都第74号	第1ポンプ場より川面下水処理場に変更
昭和39年3月11日 建阪都第97号	正雀処理区(豊中市分)
昭和39年3月28日 厚発環第113号	川面処理区
昭和40年5月11日 建阪都第171号	川面処理区・川園処理分区の追加 南吹田処理区の創設
昭和40年5月29日 建阪都第215号	正雀処理区・処理面積の拡大
昭和40年10月14日 建阪都第417号	正雀処理区(豊中市分)
昭和40年11月4日 厚発環第762号	川面下水処理場の拡大 南吹田下水処理場の創設
昭和43年7月5日 建阪都下発第35号2	川面処理区・川園ポンプ場の変更 南吹田処理区の拡大
昭和44年3月18日 建阪都下発第16号2	川面処理区・馬廻処理分区の追加 国次処理区(現在の十八条処理区)の創設、南吹田処理区
昭和44年3月18日 建阪都下発第25号2	正雀処理区 高川ポンプ場の変更
昭和45年7月7日 建阪都下発第29号2	南吹田下水処理場の拡張 川面下水処理場から南吹田下水処理場へ汚泥圧送
昭和48年3月28日 建阪都下発第14号	庄内処理区の創設、十八条処理区の人口見直し 川面処理区、正雀処理区、南吹田処理区の拡大
昭和57年3月20日 建阪都下公発第1号	川園ポンプ場・川面下水処理場の見直し 南吹田処理区、正雀処理区、十八条処理区、庄内処理区
昭和59年12月14日 建阪都下公発第20号	南吹田下水処理場の見直し 正雀前処理場の追加
昭和63年5月23日 建阪都下公発第12号	正雀下水処理場の見直し 処理面積の縮小
平成2年3月20日 建阪都下公発第7号	管渠の見直し 南吹田処理区、正雀処理区、庄内処理区
平成4年10月9日 建阪都下公発第27号	正雀下水処理場流量調整池沈砂の追加
平成12年3月3日 建阪都下公発第6号	年度延伸：S34～H17年度 川面・南吹田・正雀・庄内・十八条処理区

認可年月日・認可番号	内 容
平成15年3月28日 府指令下第299号	雨水レベルアップ整備事業 川面・南吹田・正雀・庄内・十八条処理区
平成17年3月15日 府指令下第2057号	大阪湾流域別下水道整備総合計画適合による全体計画の見直し及び南吹田下水処理場の一部を高度処理方式に変更 川面・南吹田・正雀・庄内・十八条処理区
平成20年3月28日 府指令下第2207号	雨水レベルアップ整備事業貯留水排水ポンプの追加 下水道法施行令の改正に伴う川面下水処理場、南吹田下水処理場、正雀下水処理場の計画放流水質の設定
平成23年3月23日 府指令下第2068号	大阪湾流域別下水道整備総合計画の見直しに伴う事業計画 諸元と施設計画の見直し(南吹田・川面・正雀処理区) 雨水計画の見直し(佐井寺・正雀川排水区) 南吹田下水処理場、川面下水処理場における合流改善施設 (雨水滞水池等)の位置づけ 南吹田下水処理場における汚泥燃料化施設の位置づけ 正雀処理区流域編入に伴う接続管渠の位置づけ

協議完了年月日・府文書番号	内 容
平成25年3月29日 下第2186号	大阪湾流域別下水道整備総合計画への適合(十八条処理区) 雨水計画の見直し(春日排水区) 正雀処理区を安威川流域関連公共下水道区域に編入 (正雀下水処理場、正雀前処理場、高川ポンプ場の廃止 汚水幹線管渠の廃止、正雀下水処理場の吐口の廃止) 佐井寺、正雀川、高川排水区(雨水)を安威川流域関連公共 下水道区域に編入
平成27年3月31日 下第2155号	大阪湾流域別下水道整備総合計画への適合(庄内処理区) 雨水レベルアップ整備計画の見直し(南吹田・川面処理区) 雨水計画の見直し(千里山排水区の一部) 雨水レベルアップ整備計画における貯留水排水ポンプの 予備機の位置づけ
平成29年3月27日 下第2049号	改正下水道法に基づく記載事項の追加 川面処理区下水道浸水被害軽減総合計画の位置づけ
令和2年3月30日 下第2753号	南吹田下水処理場放流ポンプ能力変更 川園ポンプ場雨水ポンプ能力変更
令和4年3月23日 下第2756号	千里山排水区排水分区分界の変更・統合 高川への計画放流量の変更 川園ポンプ場雨水ポンプ割付変更
令和5年6月8日 下第1266号	千里山排水区における土地区画整理事業に伴う雨水計画の変更 主要な管渠の見直し(川面処理区／圧送幹線二条化) 主要な管渠の見直し(南吹田処理区)
令和7年3月28日 下第2607号	千里山処理分区における土地区画整理事業に伴う污水計画の変更 南吹田下水処理場における汚泥処理方法の変更 (燃料化施設から場外搬出への変更) ・年度延伸：S34～R12年度

② 流域関連公共下水道事業

認可年月日・認可番号	内 容
昭和48年5月30日 大指令下第56号	中央処理区の創設
昭和54年3月6日 府指令下第104号	年度延伸：S48 ～ S58年度
昭和57年2月4日 府指令下第745号	管渠の変更
昭和63年2月12日 府指令下第372号	年度延伸：S48 ～ S68年度
昭和63年5月23日 府指令下第429号	区域面積拡大
平成2年3月13日 府指令下第454号	管渠の見直し
平成9年3月17日 府指令下第353号	年度延伸：S48 ～ H15年度 茨木摂津処理分区の追加
平成16年3月25日 府指令下第2740号	年度延伸：S48 ～ H22年度 大阪湾流域別下水道整備総合計画の適合
平成23年3月23日 府指令下第2397号	年度延伸：S48 ～ H24年度 吹田操車場跡地のまちづくり利用に伴う岸部・小路処理分区界の変更 高度処理水利用のため圧送管・ポンプの位置づけ 雨水計画の見直し(八丁・山田川・山田排水区)

協議完了年月日・府文書番号	内 容
平成25年3月29日 下第2185号	年度延伸：S48 ～ H30年度 大阪湾流域別下水道整備総合計画に適合 正雀処理区を安威川流域関連公共下水道区域に編入 茨木摂津処理分区の区域の変更 雨水計画の見直し(高川排水区) 単独公共下水道区域の佐井寺、正雀川、高川排水区(雨水)を 安威川流域関連公共下水道区域に編入
平成28年3月28日 下第2107号	年度延伸：S48 ～ H34年度 主要な管渠の見直し(岸部処理分区岸部幹線の一部) 処理分区界の見直し(八丁・岸部処理分区の一部) 改正下水道法に基づく記載事項の追加
令和3年9月13日 下第1868号	年度延伸：S48 ～ R6年度 主要な管渠の見直し(高川排水区の一部)
令和7年3月28日 下第2609号	年度延伸：S48 ～ R12年度 主要な管渠の見直し(佐井寺処理分区) 処理分区界の見直し(岸部・小路処理分区ほか)

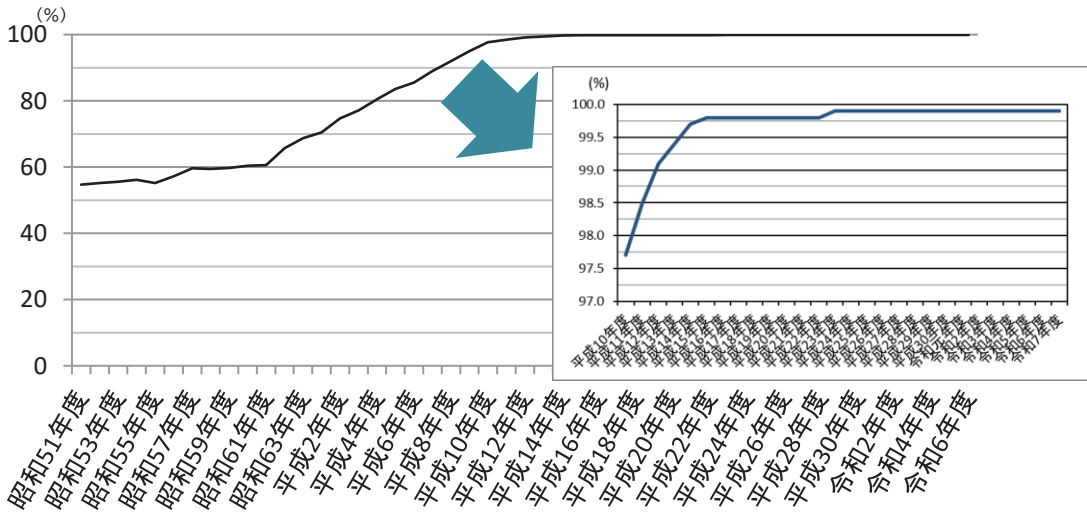
(4) 普及状況

ア 人口普及率

年 度 処理区	令和5年度(2023年度)			令和6年度(2024年度)			令和7年度(2025年度)		
	行政人口 (人)	処理人口 (人)	普及率 (%)	行政人口 (人)	処理人口 (人)	普及率 (%)	行政人口 (人)	処理人口 (人)	普及率 (%)
川面処理区	30,978	30,978	100.0	31,301	31,301	100.0	31,569	31,569	100.0
川面処理分区	9,918	9,918	100.0	9,962	9,962	100.0	10,064	10,064	100.0
川園処理分区	20,018	20,018	100.0	20,309	20,309	100.0	20,437	20,437	100.0
馬廻処理分区	1,042	1,042	100.0	1,030	1,030	100.0	1,068	1,068	100.0
南吹田処理区	127,568	127,530	100.0 ※	129,439	129,397	100.0 ※	131,159	131,110	100.0 ※
泉町処理分区	26,018	26,018	100.0	26,189	26,189	100.0	26,315	26,315	100.0
豊津処理分区	55,890	55,890	100.0	57,683	57,683	100.0	59,197	59,197	100.0
山手処理分区	16,687	16,678	99.9	16,811	16,796	99.9	17,009	16,990	99.9
千里山処理分区	28,973	28,944	99.9	28,756	28,729	99.9	28,638	28,608	99.9
十八条処理区	1,251	1,251	100.0	1,303	1,303	100.0	1,293	1,293	100.0
御旅町処理分区	1,251	1,251	100.0	1,303	1,303	100.0	1,293	1,293	100.0
庄内処理区	17,515	17,515	100.0	17,445	17,445	100.0	17,336	17,336	100.0
春日処理分区	17,515	17,515	100.0	17,445	17,445	100.0	17,336	17,336	100.0
中央処理区	205,024	204,859	99.9	204,814	204,649	99.9	204,642	204,479	99.9
八丁処理分区	19,424	19,424	100.0	19,309	19,309	100.0	19,236	19,236	100.0
山田処理分区	33,799	33,799	100.0	33,418	33,418	100.0	33,349	33,349	100.0
岸部処理分区	12,514	12,448	99.5	12,427	12,360	99.5	12,525	12,453	99.4
千里丘処理分区	26,638	26,561	99.7	26,504	26,426	99.7	26,367	26,292	99.7
山田川処理分区	33,791	33,791	100.0	34,444	34,444	100.0	34,444	34,444	100.0
小路処理分区	26,274	26,254	99.9	26,410	26,392	99.9	26,360	26,346	99.9
味舌処理分区	500	500	100.0	551	551	100.0	572	572	100.0
茨木摂津処理分区	146	146	100.0	144	144	100.0	152	152	100.0
高川処理分区	21,558	21,558	100.0	21,352	21,352	100.0	20,945	20,945	100.0
正雀川処理分区	11,337	11,337	100.0	11,379	11,379	100.0	11,644	11,644	100.0
佐井寺処理分区	19,043	19,041	100.0 ※	18,876	18,874	100.0 ※	19,048	19,046	100.0 ※
全 市 域	382,336	382,133	99.9	384,302	384,095	99.9	385,999	385,787	99.9

注) 普及率に「※」が付いているものは、普及率を四捨五入した結果、100.0%となるものを示す。

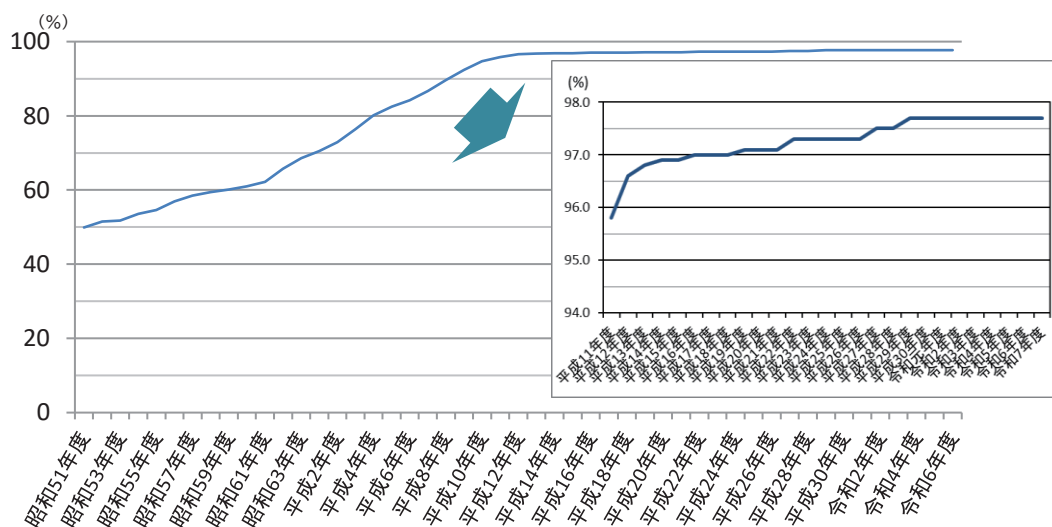
イ 全市域人口普及率推移



ウ 面積普及率

年度 処理区	計画面積 (ha)	令和5年度(2023年度)		令和6年度(2024年度)		令和7年度(2025年度)	
		処理面積 (ha)	普及率 (%)	処理面積 (ha)	普及率 (%)	処理面積 (ha)	普及率 (%)
川面処理区	240.074	240.074	100.0	240.074	100.0	240.074	100.0
川面処理分区	65.612	65.612	100.0	65.612	100.0	65.612	100.0
川園処理分区	153.262	153.262	100.0	153.262	100.0	153.262	100.0
馬廻処理分区	21.200	21.200	100.0	21.200	100.0	21.200	100.0
南吹田処理区	985.890	984.800	99.9	984.800	99.9	984.800	99.9
泉町処理分区	243.430	243.430	100.0	243.430	100.0	243.430	100.0
豊津処理分区	384.140	383.500	99.8	383.500	99.8	383.500	99.8
山手処理分区	130.520	130.340	99.9	130.340	99.9	130.340	99.9
千里山処理分区	227.800	227.530	99.9	227.530	99.9	227.530	99.9
十八条処理区	29.380	29.170	99.3	29.170	99.3	29.170	99.3
御旅町処理分区	29.380	29.170	99.3	29.170	99.3	29.170	99.3
庄内処理区	106.070	104.390	98.4	104.390	98.4	104.390	98.4
春日処理分区	106.070	104.390	98.4	104.390	98.4	104.390	98.4
中央処理区	2,220.620	2,142.370	96.5	2,142.370	96.5	2,142.370	96.5
八丁処理分区	530.950	530.950	100.0	530.950	100.0	530.950	100.0
山田処理分区	241.900	238.280	98.5	238.280	98.5	238.280	98.5
岸部処理分区	183.520	113.390	61.8	113.390	61.8	113.390	61.8
千里丘処理分区	142.530	139.760	98.1	139.760	98.1	139.760	98.1
山田川処理分区	442.000	442.000	100.0	442.000	100.0	442.000	100.0
小路処理分区	215.080	213.380	99.2	213.380	99.2	213.380	99.2
味舌処理分区	4.500	4.500	100.0	4.500	100.0	4.500	100.0
茨木摂津処理分区	1.270	1.270	100.0	1.270	100.0	1.270	100.0
高川処理分区	169.000	169.000	100.0	169.000	100.0	169.000	100.0
正雀川処理分区	150.000	150.000	100.0	150.000	100.0	150.000	100.0
佐井寺処理分区	139.870	139.840	100.0	139.840	100.0	139.840	100.0
全 市 域	3,582.034	3,500.804	97.7	3,500.804	97.7	3,500.804	97.7

工 全市域面積普及率推移





3 下水道施設の 計画と概要

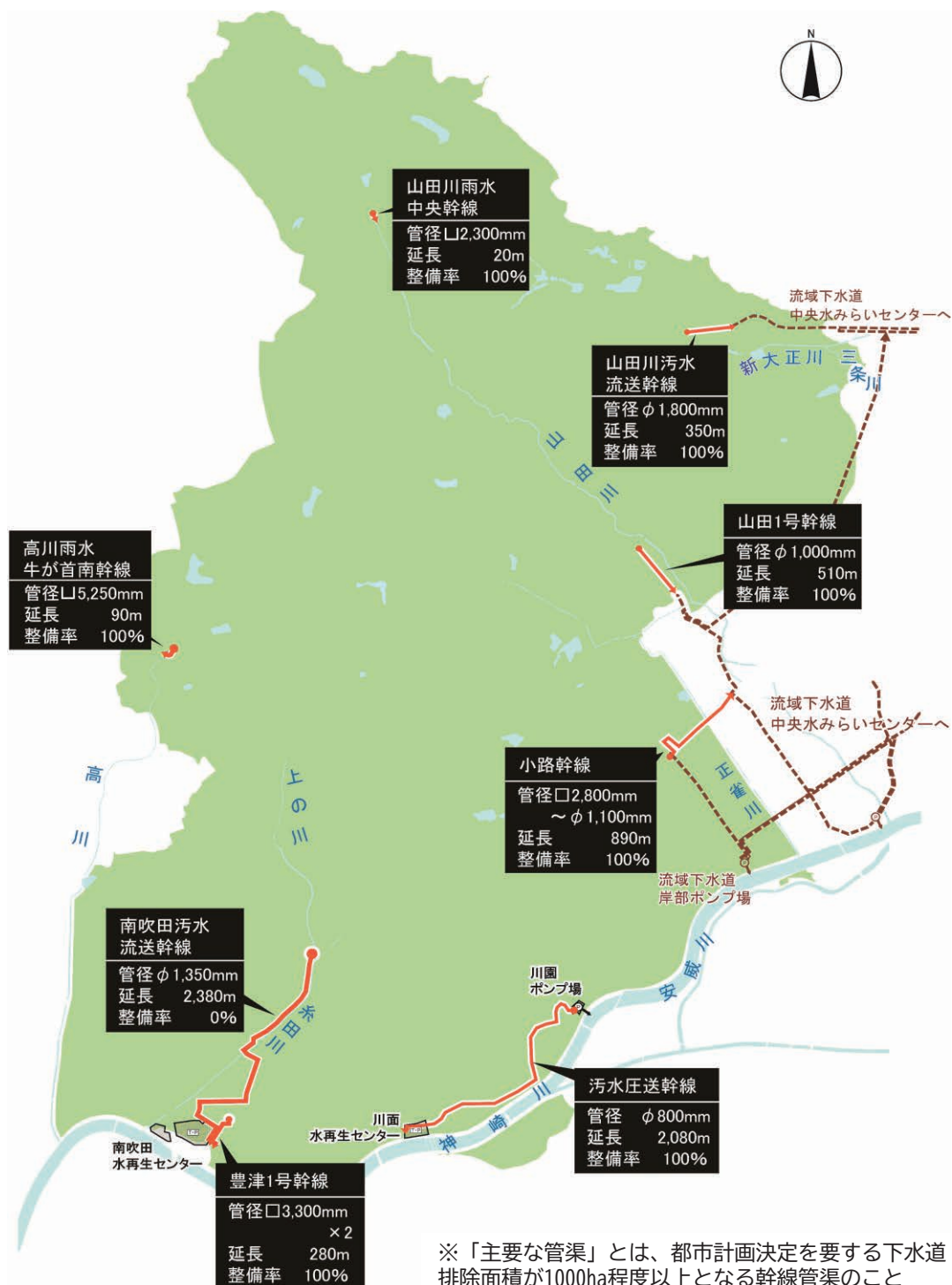
3 下水道施設の計画と概要

(1) 管渠及びマンホールポンプ施設の概要

ア 主要な管渠※の位置図

総延長6,600m 整備済延長4,220m 整備率64%

※整備率は令和7年度末（2025年度末）時点



イ 管渠整備延長

年 度	処 理 区	延 長 (m)	管 径 別 延			
			φ250mm以下	φ300～350mm	φ400～500mm	φ600～700mm
昭和34年度 (1959年度) ～ 令和2年度 (2020年度)	南吹田処理区	228,240				
	川 面 処 理 区	80,772				
	庄 内 処 理 区	14,359				
	十八条処理区	3,750				
	中 央 処 理 区	349,328				
	計	676,449				
令和3年度 (2021年度)	南吹田処理区	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	川 面 処 理 区	2,703.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	庄 内 処 理 区	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	十八条処理区	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	中 央 処 理 区	141.27	34.97	3.70	102.60	0.00
	計	2,844.27	34.97	3.70	102.60	0.00
令和4年度 (2022年度)	南吹田処理区	515.65	123.60	0.00	0.00	0.00
	川 面 処 理 区	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	庄 内 処 理 区	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	十八条処理区	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	中 央 処 理 区	375.81	44.50	243.63	37.98	12.20
	計	891.46	168.10	243.63	37.98	12.20
令和5年度 (2023年度)	南吹田処理区	63.76	20.60	43.16	0.00	0.00
	川 面 処 理 区	763.44	0.00	0.00	147.74	0.00
	庄 内 処 理 区	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	十八条処理区	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	中 央 処 理 区	502.30	0.00	3.80	0.00	4.45
	計	1,329.50	20.60	46.96	147.74	4.45
令和6年度 (2024年度)	南吹田処理区	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	川 面 処 理 区	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	庄 内 処 理 区	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	十八条処理区	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	中 央 処 理 区	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	計	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
令和7年度 (2025年度)	南吹田処理区	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	川 面 処 理 区	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	庄 内 処 理 区	381.38	0.00	13.90	132.90	0.00
	十八条処理区	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	中 央 処 理 区	181.35	0.00	0.00	130.25	51.10
	計	562.73	0.00	13.90	263.15	51.10
合 計		682,077				

長 内 訳				排 除 方 式 別 延 長 内 訳		
φ800 ～1,000mm	φ1,100 ～1,350mm	φ1,500 ～1,800mm	φ2,000mm 以上	分 流 式	合流式	
				污水管	雨水管	合流管
				359,389		317,183
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0.00	0.00	0.00	2,703.00	0.00	0.00	2,703.00
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	141.27	0.00
0.00	0.00	0.00	2,703.00	0.00	141.27	2,703.00
0.00	392.05	0.00	0.00	123.60	392.05	0.00
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
37.50	0.00	0.00	0.00	44.50	108.41	222.90
37.50	392.05	0.00	0.00	168.10	500.46	222.90
0.00	0.00	0.00	0.00	20.60	0.00	43.16
389.00	168.20	58.50	0.00	0.00	0.00	763.44
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
494.05	0.00	0.00	0.00	502.30	0.00	0.00
883.05	168.20	58.50	0.00	522.90	0.00	806.60
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
234.58	0.00	0.00	0.00	0.00	381.38	0.00
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	181.35	0.00
234.58	0.00	0.00	0.00	0.00	562.73	0.00

* 管渠の延長は四捨五入しているので必ずしも合計と一致しません

ウ マンホールポンプ主要仕様・設置個所一覧

名 称	主 要 仕 様	管 理 箇 所
中央処理区 山田処理分区		
山田 1	$\phi 65 \times 0.27\text{m}^3/\text{分} \times 5.3\text{m} \times 0.75\text{kW}$	2台 山田東1丁目12番31号
山田 2	$\phi 65 \times 0.27\text{m}^3/\text{分} \times 4.6\text{m} \times 1.5\text{kW}$	2台 山田東2丁目5番8号
山田 3	$\phi 65 \times 0.27\text{m}^3/\text{分} \times 5.1\text{m} \times 0.75\text{kW}$	2台 山田東2丁目6番15号
山田 4	$\phi 65 \times 0.27\text{m}^3/\text{分} \times 6.0\text{m} \times 1.5\text{kW}$	2台 山田東2丁目37番5号
山田 5	$\phi 65 \times 0.16\text{m}^3/\text{分} \times 8.5\text{m} \times 2.2\text{kW}$	2台 山田東2丁目33番1号
山田 6	$\phi 80 \times 0.43\text{m}^3/\text{分} \times 5.0\text{m} \times 2.2\text{kW}$	2台 山田東2丁目14番1号
山田 7	$\phi 80 \times 0.47\text{m}^3/\text{分} \times 7.0\text{m} \times 2.2\text{kW}$	2台 山田東2丁目29番14号
山田 8	$\phi 50 \times 0.26\text{m}^3/\text{分} \times 3.9\text{m} \times 0.75\text{kW}$	2台 山田東4丁目32番8号
山田 9	$\phi 80 \times 0.62\text{m}^3/\text{分} \times 11\text{m} \times 3.7\text{kW}$	2台 山田東4丁目1番39号
山田10	$\phi 50 \times 0.26\text{m}^3/\text{分} \times 5.1\text{m} \times 0.75\text{kW}$	2台 山田東4丁目4番3号
山田11	$\phi 80 \times 0.73\text{m}^3/\text{分} \times 18.2\text{m} \times 7.5\text{kW}$	2台 山田東4丁目5番2号
山田12	$\phi 80 \times 0.47\text{m}^3/\text{分} \times 3.7\text{m} \times 2.2\text{kW}$	2台 山田東4丁目30番19号
山田13	$\phi 50 \times 0.26\text{m}^3/\text{分} \times 5.7\text{m} \times 0.75\text{kW}$	2台 山田東4丁目5番19号
山田14	$\phi 65 \times 0.27\text{m}^3/\text{分} \times 5.5\text{m} \times 1.5\text{kW}$	2台 山田東4丁目26番28号
山田15	$\phi 50 \times 0.26\text{m}^3/\text{分} \times 5.1\text{m} \times 0.75\text{kW}$	2台 山田東4丁目9番7号
山田16	$\phi 50 \times 0.26\text{m}^3/\text{分} \times 5.1\text{m} \times 0.75\text{kW}$	2台 山田東4丁目9番39号
山田17	$\phi 80 \times 0.47\text{m}^3/\text{分} \times 4.9\text{m} \times 2.2\text{kW}$	2台 山田東4丁目25番18号
山田18	$\phi 80 \times 0.47\text{m}^3/\text{分} \times 5.5\text{m} \times 2.2\text{kW}$	2台 山田東4丁目9番31号
山田19	$\phi 65 \times 0.27\text{m}^3/\text{分} \times 6.4\text{m} \times 1.5\text{kW}$	2台 山田東4丁目12番3号
山田20	$\phi 65 \times 0.27\text{m}^3/\text{分} \times 3.8\text{m} \times 1.5\text{kW}$	2台 山田東4丁目22番14号
山田21	$\phi 65 \times 0.27\text{m}^3/\text{分} \times 9.1\text{m} \times 1.5\text{kW}$	2台 山田東2丁目10番15号
中央処理区 佐井寺処理分区		
山田南	$\phi 65 \times 0.27\text{m}^3/\text{分} \times 4.1\text{m} \times 1.5\text{kW}$	2台 岸部北5丁目18番19号
中央処理区 高川処理分区		
高川	$\phi 150 \times 2.31\text{m}^3/\text{分} \times 14.5\text{m} \times 18.5\text{kW}$	2台 桃山台4丁目591番
中央処理区 千里丘処理分区		
尺谷	$\phi 65 \times 0.27\text{m}^3/\text{分} \times 6.0\text{m} \times 1.5\text{kW}$	2台 尺谷29番3号
庄内処理区 春日処理分区		
春日 1	$\phi 50 \times 0.26\text{m}^3/\text{分} \times 2.5\text{m} \times 0.75\text{kW}$	2台 春日2丁目1番6号
春日 2	$\phi 80 \times 0.47\text{m}^3/\text{分} \times 2.5\text{m} \times 2.2\text{kW}$	2台 春日2丁目1番3号
春日 3	$\phi 80 \times 0.52\text{m}^3/\text{分} \times 4.8\text{m} \times 2.2\text{kW}$	2台 春日2丁目2番12号
春日 4	$\phi 50 \times 0.26\text{m}^3/\text{分} \times 5.1\text{m} \times 0.75\text{kW}$	2台 春日2丁目2番1号
春日 5	$\phi 50 \times 0.26\text{m}^3/\text{分} \times 3.6\text{m} \times 0.75\text{kW}$	2台 春日2丁目14番14号
春日 6	$\phi 50 \times 0.26\text{m}^3/\text{分} \times 3.1\text{m} \times 0.75\text{kW}$	2台 春日2丁目14番10号
春日 7	$\phi 65 \times 0.27\text{m}^3/\text{分} \times 4.5\text{m} \times 1.5\text{kW}$	2台 春日2丁目14番3号
春日 8	$\phi 100 \times 1.08\text{m}^3/\text{分} \times 3.1\text{m} \times 5.5\text{kW}$	2台 春日3丁目1番13号
春日 9	$\phi 65 \times 0.27\text{m}^3/\text{分} \times 2.4\text{m} \times 1.5\text{kW}$	2台 春日3丁目3番4号
春日10	$\phi 65 \times 0.27\text{m}^3/\text{分} \times 4.7\text{m} \times 1.5\text{kW}$	2台 春日3丁目4番5号

合計 34か所

(2) 下水道法事業計画 (処理場・ポンプ場)

ア 処理施設

名 称	位 置	敷 地 面 積 (ha)	処 理 方 法	計 画 放 流 水 質	処理能力			摘 要	
					晴天日 最大 (m³/日)	雨天日 最大 (m³/日)	計 画 処理人口 (人)		
川 面 下水処理場	吹田市 川岸町地内	1.86	活 性 汚 泥 法	BOD 15 mg/L	25,300	111,500	31,900	全体計画処理能力	
								25,300m³/日	
								予 定 水 質	
								流入水	放流水
								BOD	180mg/L 6.0mg/L
								SS	105mg/L 3.0mg/L
南 吹 田 下水処理場	吹田市 南吹田五丁目 地内 及び 大阪市淀川区 十八条 一丁目と 大阪市淀川区 東三国三丁目	5.84	活 性 汚 泥 法	BOD 15 mg/L	28,700	254,900	113,000	全体計画処理能力	
								71,600m³/日	
								予 定 水 質	
								流入水	放流水
								BOD	210mg/L 8.0mg/L
								SS	155mg/L 5.0mg/L
			凝 集 剤 併 用 型 ス テ ッ プ 流 入 式 多 段 硝 化 脱 窒 法	BOD 15 mg/L	42,900	予 定 水 質			
						流入水	放流水		
						BOD	210mg/L 8.0mg/L		
						COD	120mg/L 10.0mg/L		
						SS	155mg/L 5.0mg/L		
						T-N	40mg/L 8.0mg/L		
T-P	5.0mg/L 0.4mg/L								

イ ポンプ施設

名 称	位置	敷地 面積 (h a)	揚 水 量				摘 要	
川 園 ポンプ場	吹田市 南高浜町 地内	0.68	晴天時 最大 (m ³ /分)	19.13	雨天時 最大 (m ³ /分)	888.6※	ポンプ能力内訳	
							雨水	汚水
							849.0m ³ /分	39.6m ³ /分
※雨天時は両ポンプ共に稼働								

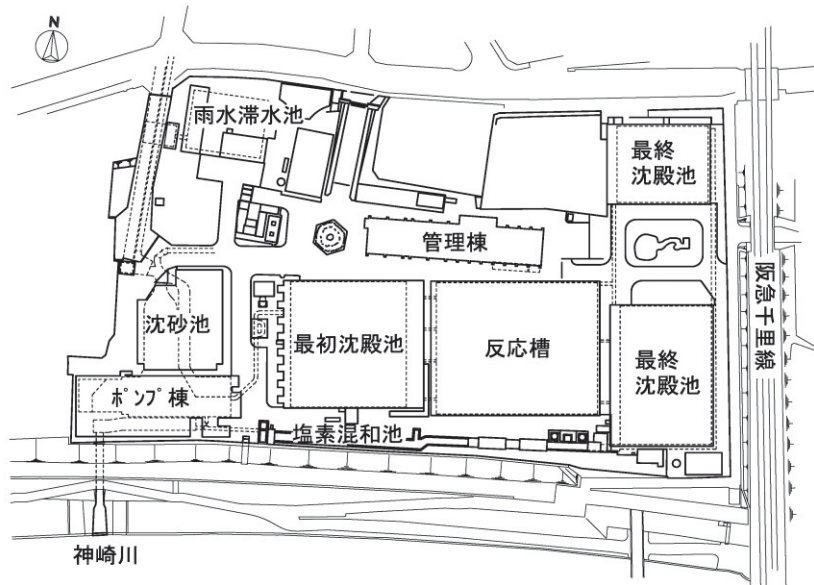
(3) 下水処理場の概要

ア 川面水再生センター

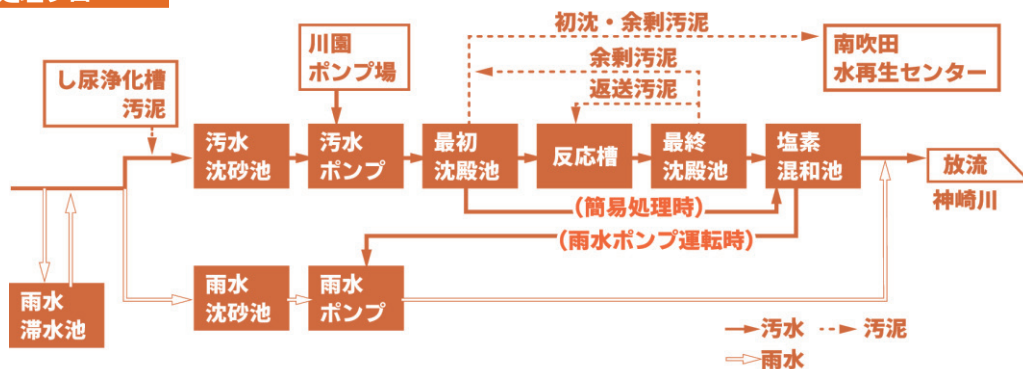
① 概 要

住 所	吹田市川岸町22番1号	供用開始	昭和41年7月
排除方式	合流式	敷地面積	18,600m ² (事業計画値)
処理方式	活性汚泥法	汚泥処理	南吹田水再生センターへ圧送
処理区域	川面処理分区	計画処理面積	240ha
	川園処理分区	計画処理人口	31,900人
	馬廻処理分区		
日最大汚水量	25,300m ³ /日		
時間最大汚水量	0.417m ³ /秒		
雨天時汚水量	1.290m ³ /秒		
雨天時最大下水量	6.360m ³ /秒		
処理水放流先	神崎川	雨水放流先	神崎川
運転監視体制	南吹田水再生センター広域監視室から、24時間連続で運転監視。		

平面図



処理フロー

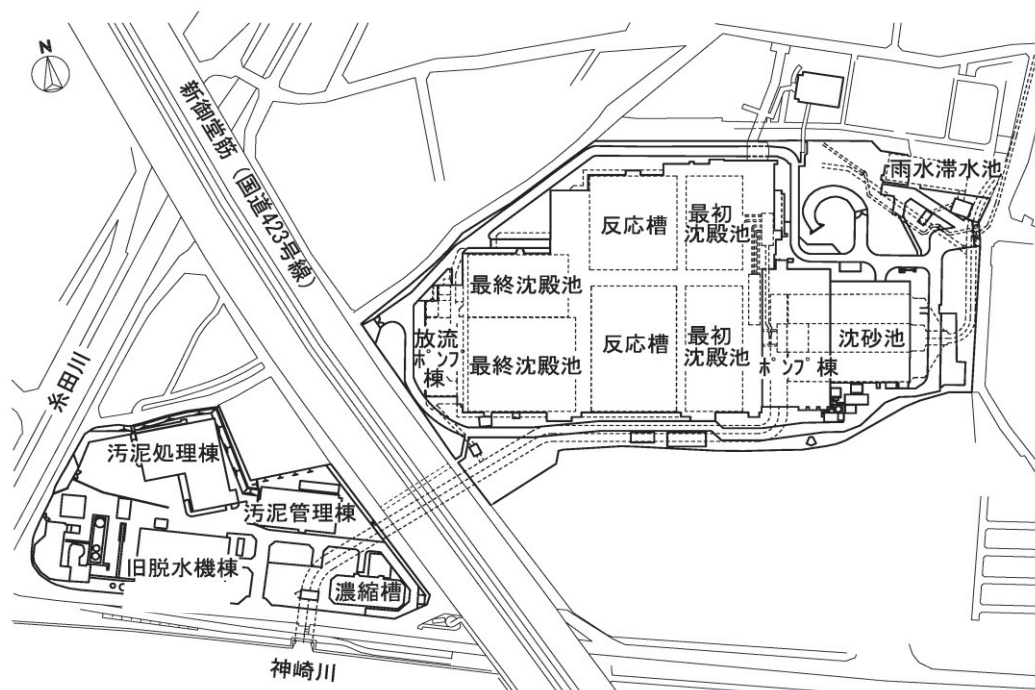


イ 南吹田水再生センター

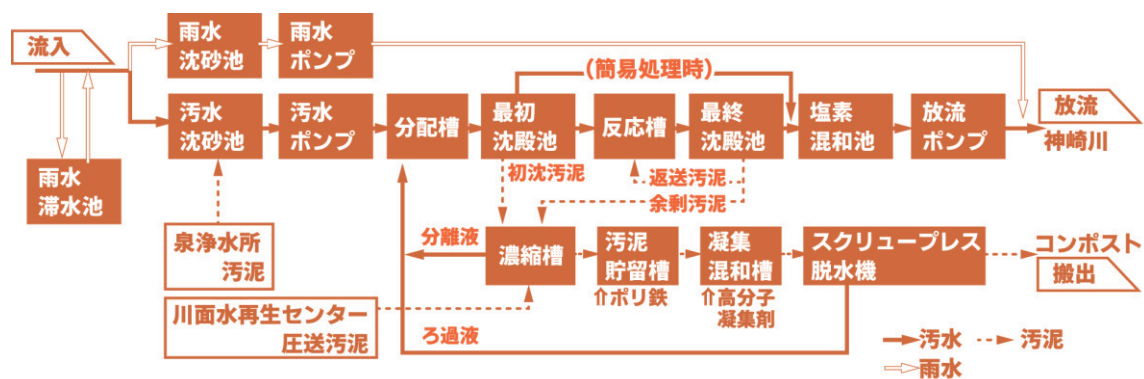
① 概 要

住 所	吹田市南吹田5丁目35番1号	供用開始	昭和46年8月
排除方式	合流式及び一部分流式	敷地面積	58,400m ² (事業計画値)
処理方式	活性汚泥法及び凝集剤併用型 ステップ流入式多段硝化脱窒法	汚泥処理	薬注脱水
処理区域	泉町処理分区(合流)	計画処理面積	986ha
	豊津処理分区(合流一部分流)	計画処理人口	113,000人
	千里山処理分区(分流)	日最大汚水量	71,600m ³ /日
	山手処理分区(分流)	時間最大汚水量	1.212m ³ /秒
雨天時最大下水量	29.548m ³ /秒	雨天時汚水量	2.950m ³ /秒
処理水放流先	神崎川	雨水放流先	神崎川
運転監視体制	水処理施設は、南吹田水再生センター広域監視室から、24時間連続で運転監視。 汚泥処理施設は、南吹田水再生センター汚泥処理施設中央監視室から、24時間連続で運転監視。		

平面图



処理フロー



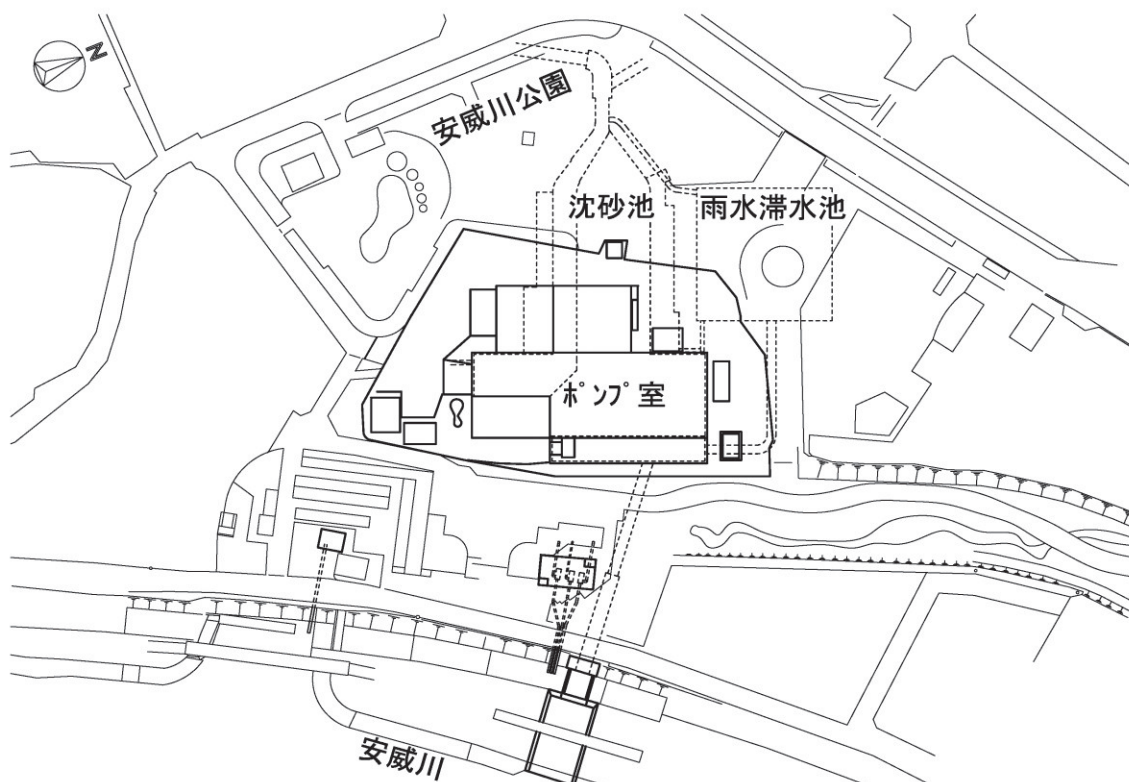
(4) ポンプ場の概要

ア 川園ポンプ場

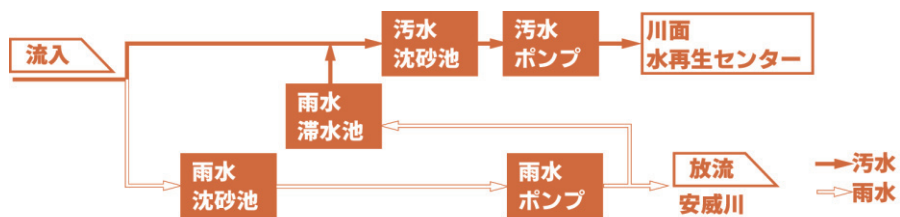
① 概 要

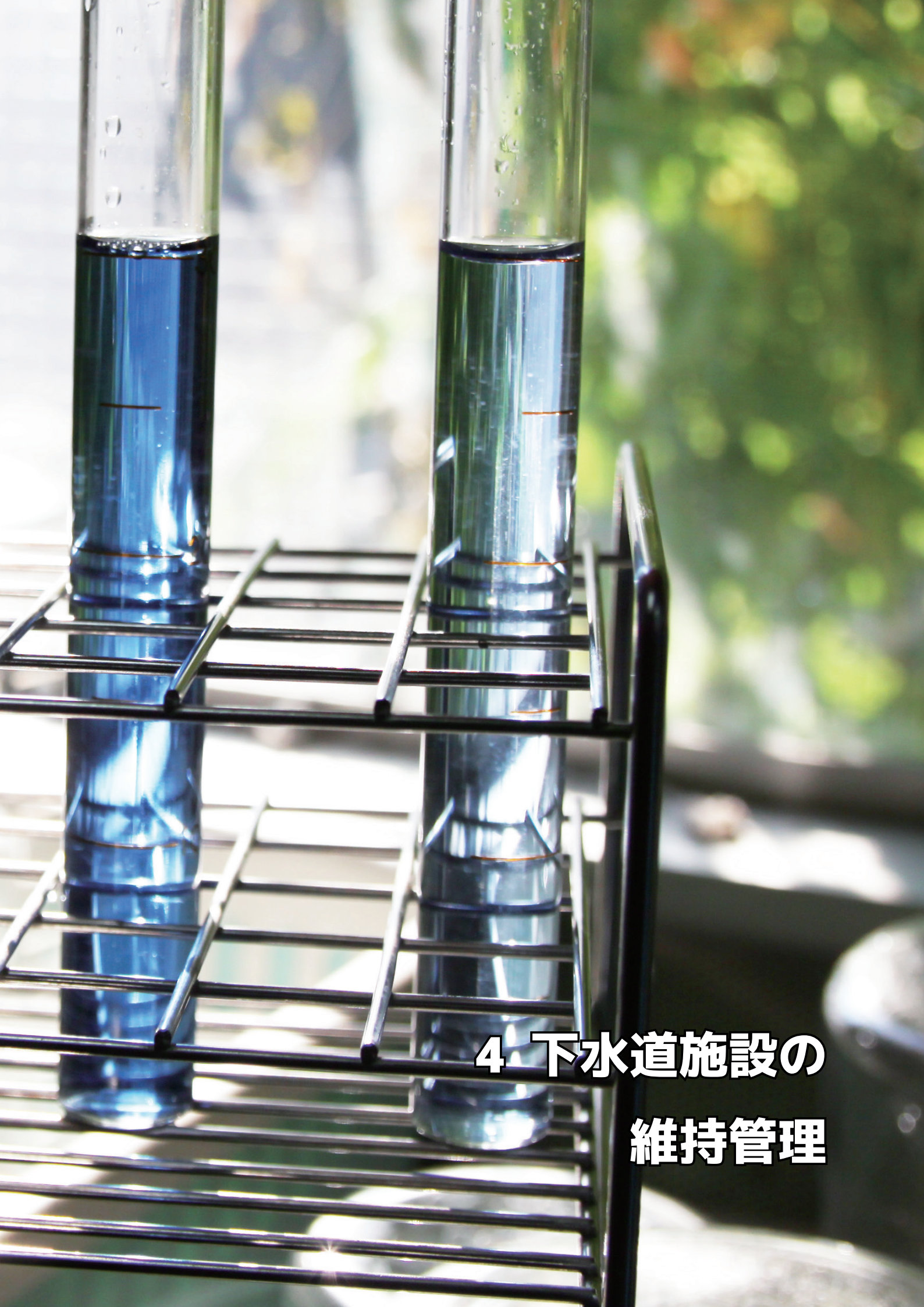
住 所	吹田市南高浜町33番1号	供用開始	昭和43年12月
排除方式	合流式	敷地面積	6,846m ² (事業計画値)
処理区域	川園処理分区	汚水処理	川面水再生センターへ圧送。
日最大汚水量	19,210m ³ /日	計画処理面積	153ha
時間最大汚水量	0.319m ³ /秒	計画処理人口	20,810人
雨天時汚水量	0.660m ³ /秒		
雨天時最大下水量	14.810m ³ /秒	雨水放流先	安威川
運転監視体制	南吹田水再生センター広域監視室から、24時間連続で運転監視。		

平面図



処理フロー





4. 下水道施設の 維持管理

4 下水道施設の維持管理

(1) 下水処理場の維持管理

ア 維持管理実績

① 川面水再生センター 維持管理実績（水処理）

区 分 \ 年 度		単 位	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
汚 水 処 理	流 入 汚 水 量	m ³	6,945,720	6,370,110	6,684,450	6,664,790	6,328,020
	高 級 処 理 水 量	m ³	5,675,355	5,198,086	5,462,729	5,461,208	5,144,728
	簡 易 処 理 水 量	m ³	295,888	151,370	235,550	221,615	182,191
	返 送 汚 泥 量	m ³	3,309,923	3,169,083	3,132,863	3,175,176	3,378,985
	余 剰 汚 泥 量	m ³	131,487	153,607	141,209	130,781	157,001
	反 応 槽 風 量	m ³	57,736,282	54,718,374	43,754,475	44,906,581	28,320,128
	初 沈 引 抜 汚 泥 量	m ³	154,435	102,092	125,651	156,263	131,478
	汚 泥 圧 送 量	m ³	285,922	255,699	266,837	287,028	288,462

雨 水 排 水	降 雨 量	mm	1,651.0	1,132.0	1,485.0	1,331.0	997.5
	雨 水 排 水 量	m ³	512,614	213,953	353,541	298,397	171,321
	重 油 使 用 量	L	4,742.3	2,050.5	3,472.0	2,411.7	1,609.6
	雨 水 ポンプ稼動回数	回	35	30	28	28	22
	雨 水 ポンプ稼働日数	日	36	28	28	26	23
	簡 易 処 理 回 数	回	40	32	29	32	27
	簡 易 処 理 日 数	日	41	37	37	35	28

そ の 他	電 力 使 用 量	kWh	3,190,530	3,062,595	2,984,216	3,076,722	2,635,093
	上 水 使 用 量	m ³	749	826	1,030	824	780
	工 業 用 水 使 用 量	m ³	24,895	24,617	24,608	24,904	22,539
	次亜塩素酸ソーダ使用量	L	77,744	91,108	85,127	79,544	67,646
	P A C 使 用 量	L	15,339	20,991	27,506	28,401	32,939
	し 渣 搬 出 量	t	2.35	1.71	2.01	1.63	1.56
	沈 砂 搬 出 量	t	19.13	20.95	18.01	24.18	12.99
	し 尿 受 入 量	m ³	504.39	472.63	475.13	432.00	412.70
	浄 化 槽 汚 泥 受 入 量	m ³	1,293.95	1,394.85	1,409.11	1,349.10	1,316.51

② 南吹田水再生センター 維持管理実績（水処理）

区 分 \ 年 度		単 位	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
汚 水 処 理	流 入 汚 水 量	m ³	19,678,130	18,493,640	18,980,180	19,312,700	18,709,100
	高 級 処 理 水 量	m ³	19,906,500	19,035,642	19,575,576	19,759,536	18,930,752
	簡 易 処 理 水 量	m ³	1,617,757	967,233	1,103,540	1,117,620	863,158
	返 送 汚 泥 量	m ³	8,209,227	7,962,385	8,010,699	8,020,468	7,746,050
	余 剰 汚 泥 量	m ³	287,628	299,950	294,967	282,822	294,828
	反 応 槽 風 量	m ³	80,588,777	81,349,021	82,151,721	74,653,658	76,857,575
	初 沈 引 抜 汚 泥 量	m ³	225,699	185,163	184,585	145,902	400,652

雨 水 排 水	降 雨 量	mm	1,722.0	1,199.5	1,560.0	1,382.0	1,024.0
	雨 水 排 水 量	m ³	2,807,700	1,500,900	2,759,460	2,135,340	1,396,440
	重 油 使 用 量	L	14,023	8,692	14,365	10,812	6,818
	雨 水 ポ ン プ 稼 動 回 数	回	33	29	37	28	26
	雨 水 ポ ン プ 稼 動 日 数	日	32	28	37	27	24
	簡 易 処 理 回 数	回	62	41	34	47	44
	簡 易 処 理 日 数	日	60	51	46	59	48

そ の 他	電 力 使 用 量	kWh	6,545,525	6,305,118	6,428,566	6,232,079	6,151,982
	上 水 使 用 量	m ³	3,607	3,226	3,373	3,439	3,353
	工 業 用 水 使 用 量	m ³	93,901	103,141	78,166	65,603	83,331
	次 亜 塩 素 酸 ソ ー ダ ・ 滅 菌	L	182,191	183,762	186,841	187,795	190,011
	次 亜 塩 素 酸 ソ ー ダ ・ 脱 臭 沈 砂 池	L	4,720	4,392	4,271	3,941	2,781
	次 亜 塩 素 酸 ソ ー ダ ・ 脱 臭 水 処 理	L	4,413	4,170	2,227	2,033	2,968
	苛 性 ソ ー ダ ・ 脱 臭 沈 砂 池	L	3,201	1,349	1,117	1,345	893
	苛 性 ソ ー ダ ・ 脱 臭 水 処 理	L	3,453	3,420	3,135	2,828	3,878
	P A C 使 用 量	L	1,613	4,050	10,083	20,232	29,736
	し 渣 搬 出 量	t	10.39	6.34	7.30	6.27	10.22
	沈 砂 搬 出 量	t	121.19	100.56	87.66	68.44	53.06

※ 上水・工水使用量は南吹田水再生センター（水処理＋汚泥処理）での全使用量です。

③ 南吹田水再生センター 維持管理実績（污泥処理）

区 分 \ 年 度			単 位	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
汚 泥 処 理	濃 縮 槽 引 抜 汚 泥 量		m³	187,907	200,537	202,759	206,776	219,083
	濃 縮 槽 引 抜 汚 泥 濃 度		%	1.6	1.7	1.6	1.7	1.6
	乾 燥 固 形 物 量		kg	2,848,726	2,860,262	2,967,218	3,009,879	2,910,100
	汚 泥 受 入 量（川 面）		m³	283,336	254,756	264,818	285,958	287,316
	汚 泥 受 入 量（水 道）		m³	23,670	22,802	21,545	17,554	12,356
脱 水	脱 水 機 稼 動 日 数		日	365	365	366	365	365
	運 転 時 間		h:m	16,281:54	18,224:30	19,403:24	18,948:06	20,812:12
	脱 水 ケ ー キ 量		t	11,942.00	12,133.20	12,353.70	12,425.90	12,854.40
	ケ ー キ 搬 出 量	コンポスト化	t	11,914.65	12,085.45	12,275.49	12,378.68	12,815.06
		セメント化	t	—	—	—	—	—
	ケ ー キ 含 水 率		%	73.3	74.1	73.9	74.4	75.9
そ の 他	電 力 使 用 量		kWh	1,417,400	1,404,500	1,086,700	987,100	1,024,100
	次亜塩素酸ソーダ・脱臭用		kg	27,912	20,820	0	0	0
	苛 性 ソ ー ダ 使 用 量		kg	6,749	3,672	0	0	0
	ポリ硫酸第二鉄使用量		kg	295,485	288,396	301,690	306,158	297,790
	ポリ硫酸第二鉄添加率		%	9.28	8.69	9.29	9.39	9.03
	高 分 子 凝 集 剤 使 用 量		kg	24,837	24,514	24,157	23,936	25,449
	高 分 子 凝 集 剤 添 加 率		%	0.92	0.88	0.89	0.89	0.95
	し 渣 搬 出 量		t	26.18	59.77	53.08	59.52	68.22

※令和4年度に脱臭装置を生物脱臭方式へ更新したため、令和4年度まで脱臭用として使用していた次亜塩素酸ソーダ・脱臭用及び苛性ソーダは、令和5年度以降、使用量は0となります。

④ 川園ポンプ場 維持管理実績

区 分		年 度	単 位	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
汚 理 水	川 面 圧 送 水 量	m ³		4,216,452	3,855,123	4,098,927	4,236,124	4,034,240
雨 水 排 水	降 雨 量	mm		1,715.5	1,125.5	1,456.5	1,335.0	992.5
			m ³	1,635,359	774,775	1,224,687	1,035,426	642,083
			L	15,509	8,256	11,797	9,992	6,517
			回	55	41	42	38	32
			日	54	42	46	35	32
そ の 他	電 力 使 用 量	kWh		530,803	510,984	529,626	522,842	495,088
			m ³	1,656	1,314	945	801	695
			t	1.32	1.11	1.28	1.13	1.50
			t	22.74	15.12	18.28	15.68	15.88



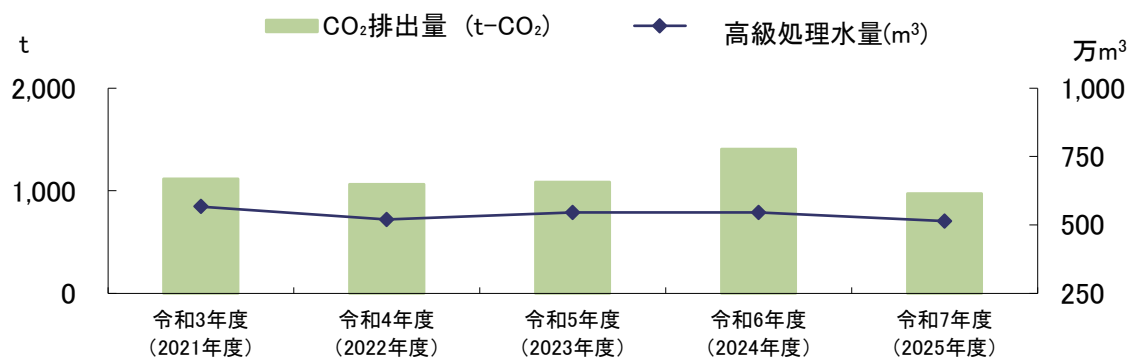
南吹田水再生センター雨水ポンプ

⑤ 川面水再生センター CO2排出量

区 分 \ 年 度 (単位)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
電 力 使 用 量 (kWh)	3,190,530	3,062,595	2,984,216	3,076,722	2,635,093
CO ₂ 換 算 量 (t-CO ₂)	1,081.44	1,058.13	1,074.32	1,368.37	967.74
重 油 使 用 量 (L)	4,742	2,051	3,472	16,340	1,610
CO ₂ 換 算 量 (t-CO ₂)	12.85	5.56	9.41	37.96	4.43
プロパンガス使 用 量 (m ³)	31.0	30.8	35.1	37.2	33.3
CO ₂ 換 算 量 (t-CO ₂)	0.20	0.20	0.23	0.24	0.22

※CO₂はエネルギー起源によるもので、重油・電気・ガス使用量からの換算量です。

川面水再生センターCO₂排出量



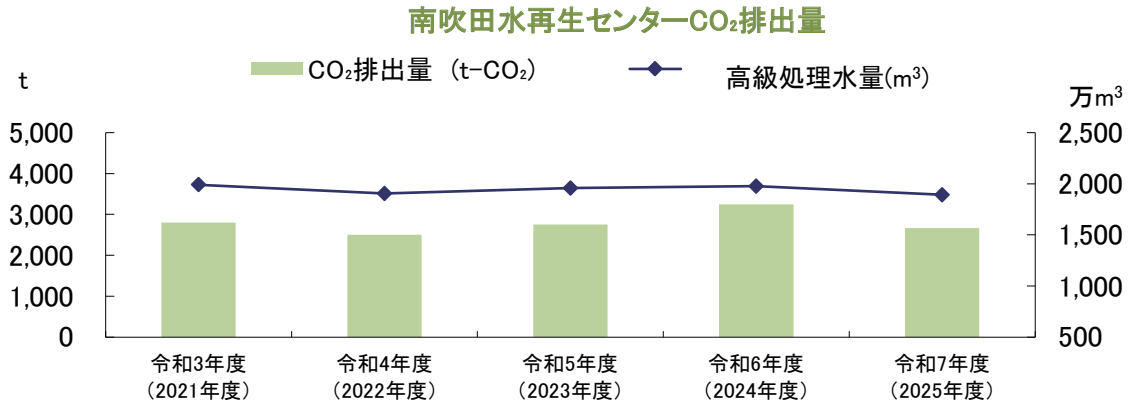
区 分 \ 年 度 (単位)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)	1,115	1,064	1,084	1,407	972
高級処理水量 (m ³)	5,675,355	5,198,086	5,462,729	5,461,208	5,144,728

※電力供給会社によって、排出係数が変わります。
従って、高級処理水量とCO₂排出量との間に相関がみられないこともあります。

⑥ 南吹田水再生センター CO₂排出量

区 分 \ 年 度 (単位)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
電 力 使 用 量 (kWh)	7,962,925	7,709,618	7,515,266	7,219,179	7,176,082
CO ₂ 換 算 量 (t-CO ₂)	2,751.19	2,470.93	2,705.50	3,210.73	2,635.42
重 油 使 用 量 (L)	14,023	8,692	14,365	10,812	6,818
CO ₂ 換 算 量 (t-CO ₂)	38.00	23.56	38.93	29.30	18.75
プロパンガス使 用 量 (m ³)	1,380.8	1,314.6	1,251.0	1,176.3	1,226.4
CO ₂ 換 算 量 (t-CO ₂)	9.04	8.61	8.19	7.70	8.00

※CO₂はエネルギー起源によるもので、重油・電気・ガス使用量からの換算量です。



区 分 \ 年 度 (単位)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)	2,798	2,503	2,753	3,248	2,662
高級処理水量 (m ³)	19,906,500	19,035,642	19,575,576	19,759,536	18,930,752

※電力供給会社によって、排出係数が変わります。
従って、高級処理水量とCO₂排出量との間に相関がみられないこともあります。

イ 水質試験結果

①ー1 川面水再生センター 年度別平均値

試料名	年度 区分	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
流入水	透視度 (度)	4.8	5.0	5.2	5.5	6.2
	pH	7.74	7.93	7.85	7.88	7.80
	SS (mg/L)	118	110	109	92	96
	COD (mg/L)	96.7	88.0	93.4	86.6	88.5
	BOD (mg/L)	146	180	158	119	137
	T-N (mg/L)	67.1	60.9	58.9	54.7	56.6
	T-P (mg/L)	6.88	6.22	6.73	6.34	6.46
放流水	透視度 (度)	69	85	86	83	84
	pH	7.02	7.12	7.13	7.23	7.10
	SS (mg/L)	5	3	3	3	3
	COD (mg/L)	14.6	14.5	12.2	11.2	11.1
	BOD [※] (mg/L)	2.5	2.0	1.6	2.0	1.7
	T-N (mg/L)	24.7	22.5	21.1	19.0	20.4
	T-P (mg/L)	2.66	2.76	2.71	2.78	1.79

※ 放流水BODの水質試験は、JIS K0102 21 備考1によります。

※ 放流水の水質は、排水基準を遵守していました。

①ー2 川面処理区 年度別 合流式下水道の雨天時放流水分析結果

試料名	年度 区分	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
雨天時 放流水	BOD (mg/L)	17.6 (5月)	16.6 (9月)	27.2 (7月)	31.5 (3月)	25.4 (9月)
		22.4 (12月)	32.5 (11月)	—	—	—

※雨天時放流水BODは、汚濁負荷量の総量を放流水の総量で除した数値で、()内は採水月を示します。

※雨天時放流水質基準は、BOD40mg/L以下です。

※雨天時放流水質基準は、処理区内の総降雨量が10mm以上30mm以下の降雨に適用し、年1回以上の測定が必要です。

①ー3 南吹田水再生センター 年度別平均値

試料名	年度 区分	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
流入水	透視度 (度)	4.7	4.7	5.1	5.3	6.0
	pH	7.60	7.88	7.79	7.83	7.84
	SS (mg/L)	130	136	129	110	131
	COD (mg/L)	110	104	104	102	103
	BOD (mg/L)	182	205	198	171	174
	T-N (mg/L)	48.7	47.3	45.7	42.8	43.9
	T-P (mg/L)	4.92	4.75	4.78	4.33	4.57
放流水	透視度 (度)	85	84	90	84	87
	pH	6.83	6.87	6.83	7.05	6.97
	SS (mg/L)	2	2	2	2	2
	COD (mg/L)	12.5	12.8	12.0	11.6	12.8
	BOD※ (mg/L)	2.4	2.4	1.8	2.3	2.1
	T-N (mg/L)	12.3	11.8	10.8	11.8	11.6
	T-P (mg/L)	0.61	0.77	0.85	0.93	0.94

※ 放流水BODの水質試験は、JIS K0102 21 備考1によります。

※ 放流水の水質は、排水基準を遵守していました。

①ー4 南吹田処理区 年度別 合流式下水道の雨天時放流水分析結果

試料名	年度 区分	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
雨天時 放流水	BOD (mg/L)	24.2 (5月)	27.8 (8月)	38.2 (11月)	31.8 (10月)	31.9 (10月)
		—	—	—	—	—

※雨天時放流水BODは、汚濁負荷量の総量を放流水の総量で除した数値で、()内は採水月を示します。

※雨天時放流水質基準は、BOD40mg/L以下です。

※雨天時放流水質基準は、処理区内の総降雨量が10mm以上30mm以下の降雨に適用し、年1回以上の測定が必要です。

②-1 川面水再生センター 令和7年度(2025年度)月平均値

試料名	月 項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
流入水	透視度 (度)	3.8	5.6	7.3	4.6	7.4	7.9	6.8	6.1	6.5	7.4	5.8	5.9	6.2
	pH	7.86	7.67	7.67	7.70	7.77	7.82	8.04	8.03	7.57	7.80	7.88	7.81	7.80
	SS (mg/L)	125	83	92	101	57	61	93	105	167	82	100	91	96
	COD (mg/L)	103	90.0	76.7	91.8	75.1	75.2	91.2	94.9	104	92.5	92.7	76.1	88.5
	BOD (mg/L)	171	208	79.0	150	109	111	141	125	145	132	135	138	137
	T-N (mg/L)	52.9	55.8	44.1	78.4	52.3	51.2	65.1	55.9	63.4	47.9	45.9	66.3	56.6
	T-P (mg/L)	5.32	7.13	5.45	6.64	6.33	5.82	6.70	7.43	7.72	6.20	5.87	6.94	6.46
放流水	透視度 (度)	57	61	83	100	95	100	100	100	72	82	90	65	84
	pH	7.08	7.08	6.97	7.05	7.30	7.23	7.21	7.29	7.03	7.01	7.02	7.00	7.10
	SS (mg/L)	3	3	2	1	1	1	2	2	5	4	6	4	3
	COD (mg/L)	12.2	12.3	8.7	10.2	9.1	9.9	10.0	10.3	13.2	11.6	15.0	11.6	11.1
	BOD* (mg/L)	1.5	1.5	1.6	0.8	1.5	1.4	1.7	0.8	2.3	2.5	4.2	1.1	1.7
	T-N (mg/L)	19.8	17.9	14.9	28.3	19.0	20.6	21.8	21.3	24.1	16.9	18.4	21.7	20.4
	T-P (mg/L)	0.79	0.71	1.34	1.75	1.48	1.38	2.77	3.17	2.60	2.19	2.11	1.26	1.79

※ 放流水BODの水質試験は、JIS K0102 21 備考1によります。

②-2 南吹田水再生センター 令和7年度(2025年度)月平均値

試料名	月 項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
流入水	透視度 (度)	4.6	6.3	7.6	6.2	6.3	5.7	5.6	5.1	6.4	6.5	7.0	4.9	6.0
	pH	7.73	7.90	7.73	7.59	7.62	7.73	8.20	7.70	7.99	7.94	7.93	8.00	7.84
	SS (mg/L)	194	68	108	101	96	125	144	102	165	174	179	150	131
	COD (mg/L)	124	95.0	88.7	92.4	90.4	96.1	109	119	115	113	108	86.4	103
	BOD (mg/L)	219	153	134	164	146	127	169	170	193	195	174	243	174
	T-N (mg/L)	38.8	45.2	35.0	51.6	36.5	37.1	45.9	49.2	48.1	40.9	43.7	55.6	43.9
	T-P (mg/L)	4.32	4.62	3.46	3.81	4.08	3.76	4.55	6.29	4.80	4.76	4.93	5.51	4.57
放流水	透視度 (度)	73	100	94	100	100	84	100	90	84	88	77	55	87
	pH	6.94	6.89	6.86	6.94	7.04	7.04	7.14	7.18	6.97	6.98	7.00	6.72	6.97
	SS (mg/L)	2	2	2	1	2	1	3	3	2	2	3	4	2
	COD (mg/L)	14.3	12.5	10.6	11.9	10.5	12.4	13.3	13.1	14.2	13.4	13.3	13.9	12.8
	BOD* (mg/L)	2.1	1.4	2.1	1.2	2.2	2.4	2.1	1.7	2.5	2.4	3.2	1.9	2.1
	T-N (mg/L)	12.7	11.9	6.8	15.4	8.2	10.1	12.2	10.5	13.6	12.6	13.0	12.0	11.6
	T-P (mg/L)	1.02	1.50	0.64	1.02	0.93	1.06	1.25	0.74	0.99	0.67	0.72	0.77	0.94

※ 放流水BODの水質試験は、JIS K0102 21 備考1によります。

③-1 川面水再生センター 重金属等試験結果(放流水)

年度 項目	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	基準値
カドミウム	ND	ND	ND	ND	ND	0.03 mg/L
シアン	ND	ND	ND	ND	ND	1 mg/L
有機リン	ND	ND	ND	ND	ND	1 mg/L
鉛	ND	ND	ND	ND	ND	0.1 mg/L
六価クロム	ND	ND	ND	ND	ND	0.2 mg/L
ひ素	ND	ND	ND	ND	ND	0.1 mg/L
総水銀	ND	ND	ND	ND	ND	0.005 mg/L
アルキル水銀	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	検出されないこと
ポリ塩化ビフェニル	ND	ND	ND	ND	ND	0.003 mg/L
トリクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	0.1 mg/L
テトラクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	0.1 mg/L
ジクロロメタン	ND	ND	ND	ND	ND	0.2 mg/L
四塩化炭素	ND	ND	ND	ND	ND	0.02 mg/L
1, 2-ジクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	0.04 mg/L
1, 1-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	1 mg/L
シス-1, 2-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	0.4 mg/L
1, 1, 1-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	3 mg/L
1, 1, 2-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	0.06 mg/L
1, 3-ジクロロプロペン	ND	ND	ND	ND	ND	0.02 mg/L
チウラム	ND	ND	ND	ND	ND	0.06 mg/L
シマジン	ND	ND	ND	ND	ND	0.03 mg/L
チオベンカルブ	ND	ND	ND	ND	ND	0.2 mg/L
ベンゼン	ND	ND	ND	ND	ND	0.1 mg/L
セレン	ND	ND	ND	ND	ND	0.1 mg/L
ほう素	0.03	0.03	ND	0.05	ND	10 mg/L
ふっ素	0.1	ND	0.1	ND	ND	8 mg/L
1, 4-ジオキサン	ND	ND	ND	ND	ND	0.5 mg/L
フェノール類	ND	ND	ND	ND	ND	5 mg/L
銅	ND	ND	ND	ND	ND	3 mg/L
亜鉛	ND	ND	ND	ND	ND	2 mg/L
溶解性鉄	0.2	0.3	0.3	0.2	0.2	10 mg/L
溶解性マンガン	ND	ND	ND	ND	ND	10 mg/L
全クロム	ND	ND	ND	ND	ND	2 mg/L

※ NDは定量下限値未満を示します。

※ 基準値は、水質汚濁防止法「排水基準を定める省令」及び、大阪府条例「水質汚濁防止法第三条第三項の規定による排水基準

③-2 南吹田水再生センター 重金属等試験結果(放流水)

年度 項目	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	基準値
カドミウム	ND	ND	ND	ND	ND	0.03 mg/L
シアン	ND	ND	ND	ND	ND	1 mg/L
有機リン	ND	ND	ND	ND	ND	1 mg/L
鉛	ND	ND	ND	ND	ND	0.1 mg/L
六価クロム	ND	ND	ND	ND	ND	0.2 mg/L
ひ素	ND	ND	ND	ND	ND	0.1 mg/L
総水銀	ND	ND	ND	ND	ND	0.005 mg/L
アルキル水銀	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	検出されないこと
ポリ塩化ビフェニル	ND	ND	ND	ND	ND	0.003 mg/L
トリクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	0.1 mg/L
テトラクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	0.1 mg/L
ジクロロメタン	ND	ND	ND	ND	ND	0.2 mg/L
四塩化炭素	ND	ND	ND	ND	ND	0.02 mg/L
1, 2-ジクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	0.04 mg/L
1, 1-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	1 mg/L
シス-1, 2-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	0.4 mg/L
1, 1, 1-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	3 mg/L
1, 1, 2-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	0.06 mg/L
1, 3-ジクロロプロペン	ND	ND	ND	ND	ND	0.02 mg/L
チウラム	ND	ND	ND	ND	ND	0.06 mg/L
シマジン	ND	ND	ND	ND	ND	0.03 mg/L
チオベンカルブ	ND	ND	ND	ND	ND	0.2 mg/L
ベンゼン	ND	ND	ND	ND	ND	0.1 mg/L
セレン	ND	ND	ND	ND	ND	0.1 mg/L
ほう素	0.04	0.03	0.03	0.02	0.02	10 mg/L
ふっ素	0.1	0.1	0.1	0.1	ND	8 mg/L
1, 4-ジオキサン	ND	ND	ND	ND	ND	0.5 mg/L
フェノール類	ND	ND	ND	ND	ND	5 mg/L
銅	ND	ND	ND	ND	ND	3 mg/L
亜鉛	ND	ND	ND	ND	ND	2 mg/L
溶解性鉄	ND	ND	ND	0.1	ND	10 mg/L
溶解性マンガン	ND	ND	ND	ND	ND	10 mg/L
全クロム	ND	ND	ND	ND	ND	2 mg/L

※ NDは定量下限値未満を示します。

※ 基準値は、水質汚濁防止法「排水基準を定める省令」及び、大阪府条例「水質汚濁防止法第三条第三項」の規定による排水基準

ウ 廃棄物試験結果

① 南吹田水再生センター 重金属等試験結果(脱水ケーキ溶出試験)

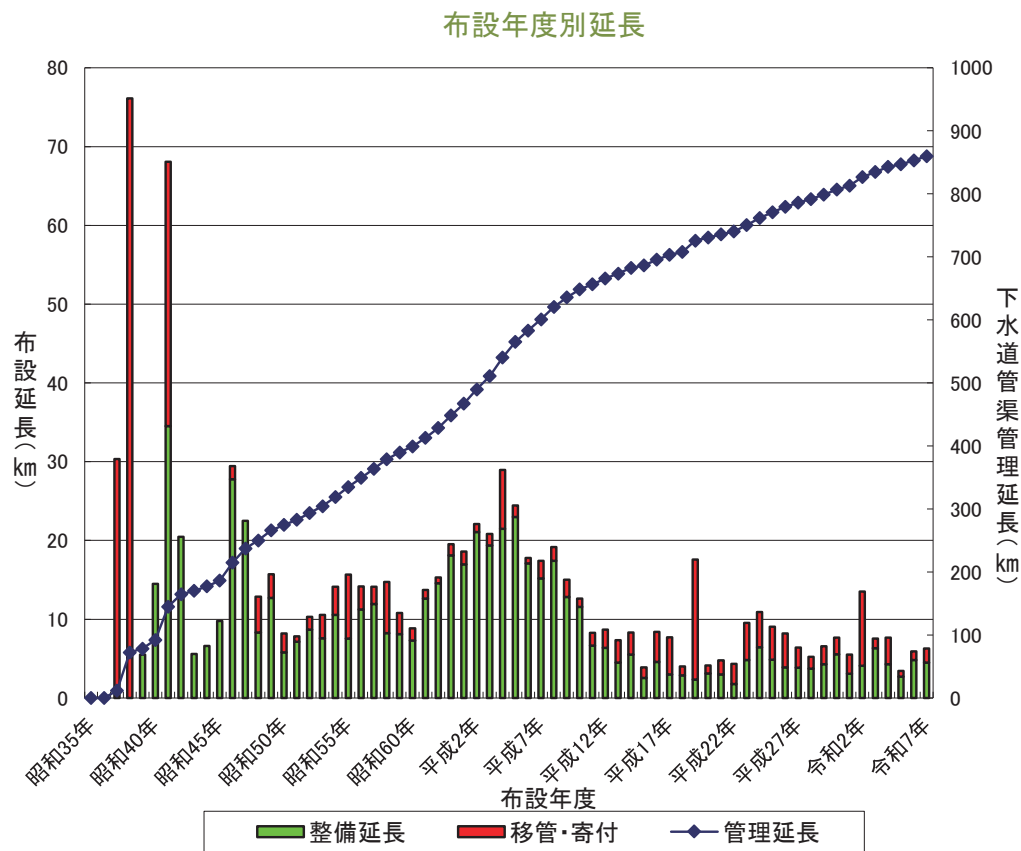
年度 項目	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	基準値
アルキル水銀	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	検出されないこと
総水銀	ND	ND	ND	ND	ND	0.005 mg/L
カドミウム	ND	ND	ND	ND	ND	0.09 mg/L
鉛	ND	ND	ND	ND	ND	0.3 mg/L
有機リン	ND	ND	ND	ND	ND	1 mg/L
六価クロム	ND	ND	ND	ND	ND	1.5 mg/L
ヒ素	0.01	0.03	0.02	0.02	0.02	0.3 mg/L
シアン	ND	ND	ND	ND	ND	1 mg/L
ポリ塩化ビフェニル	ND	ND	ND	ND	ND	0.003 mg/L
トリクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	0.1 mg/L
テトラクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	0.1 mg/L
ジクロロメタン	ND	ND	ND	ND	ND	0.2 mg/L
四塩化炭素	ND	ND	ND	ND	ND	0.02 mg/L
1, 2-ジクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	0.04 mg/L
1, 1-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	1 mg/L
シス-1, 2-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	0.4 mg/L
1, 1, 1-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	3 mg/L
1, 1, 2-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	0.06 mg/L
1, 3-ジクロロプロペン	ND	ND	ND	ND	ND	0.02 mg/L
チウラム	ND	ND	ND	ND	ND	0.06 mg/L
シマジン	ND	ND	ND	ND	ND	0.03 mg/L
チオベンカルブ	ND	ND	ND	ND	ND	0.2 mg/L
ベンゼン	ND	ND	ND	ND	ND	0.1 mg/L
セレン	ND	ND	ND	ND	ND	0.3 mg/L
1, 4-ジオキサン	ND	ND	ND	ND	ND	0.5 mg/L

※ NDは定量下限値未満を示します。

※ 基準値は「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」（昭和48年2月17日総理府令第5号）によります。

(2) 管渠管理延長

ア 布設年度別延長



イ 管渠管理延長

年 度 管種別		単位	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
下水道管理延長（全体）		km	849.739	854.066	854.905	857.194	859.758
汚 水 管		km	329.103	331.019	331.258	332.169	332.991
雨 水 管		km	177.332	179.224	179.560	180.087	181.281
合 流 管		km	343.304	343.823	344.087	344.938	345.487

(3) 管渠等の改築・修繕及び維持管理

ア 改 築

※老朽化対策または地震対策において改築した管渠の延長を示します。

区 分 \ 年 度	単 位	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
管 更 生	m	3,336	3,441	2,597	3,829	3,648
布 設 替	m	267	74	73	0	27

イ 修 繕

区 分 \ 年 度	単 位	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
人 孔 関 係	箇所	112	106	130	110	178
人 孔 蓋 取 替	箇所	302	324	213	196	318
本 管 関 係	箇所	9	6	16	24	15
汚 水 枳 及 び 取 付 管	箇所	109	98	197	152	110
雨 水 枳 及 び 取 付 管	箇所	36	46	51	45	54

ウ 清 掃

※令和6年度から第2期包括業務委託となり新たな計画に基づき実施。

区 分 \ 年 度	単 位	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
管 渠	m	5,261	1,414	2,573	1,703	1,763
雨 水 渠	m	3,062	4,216	6,685	593	6,685
枳	箇所	826	715	741	1047	1187
伏 越 人 孔	箇所	32	29	29	29	29

エ 点 検・調 査

区 分 \ 年 度	単 位	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
管 渠 点 検 箇 所	箇所	0	0	0	0	36
管 渠 調 査 延 長 ※	m	717	598	552	592	10,243
点 検 (ストックマネジメント)	箇所	8,742	0	0	7,914	2,652
調 査 (ストックマネジメント)	m	0	62,089	58,156	0	45,493

※令和7年度は全国特別重点調査実施分(9,607m)を含みます。

オ 耐 震 化

区 分 \ 年 度	単 位	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
重要な幹線等 ※ 1	km	222	224.6	224.6	225.5	225.5
耐震化済み ※ 2 (重要な幹線等)	km	49.5	55	57.5	62.4	67.4
耐 震 化 率 (重要な幹線等)	%	22.3	24.5	25.6	27.7	29.9

※1 重要な幹線等とは、被災時に重要な交通機能への障害を及ぼすおそれのある緊急輸送路等に埋設されている管渠やポンプ場や処理場に直結する幹線管渠等を指します。

※2 耐震診断や改築により耐震性能を有すると判断した管渠の累積延長を示します。

5 水洗化の普及



5 水洗化の普及

(1) 水洗便所改造等助成及び融資あっ旋制度

ア 水洗便所改造等助成金制度の推移

年 月	制 度 内 容 等
昭和41年 6月	大便器 3,000円、小便器 1,000円、兼用器 4,000円
昭和47年 1月	大便器 4,500円、小便器 1,500円、兼用器 6,000円に改定 し尿浄化槽 6,000円を追加
昭和48年12月	生活保護を受けている者に対して全額助成
平成 3年11月	大便器(兼用器、小便器を含む) 10,000円、し尿浄化槽 10,000円に改定
平成 4年 5月	同和対策事業助成金の制定 10,000円 + 20,000円 = 30,000円 (一般助成金) (同和対策事業助成金)
平成11年 4月	同和対策事業助成金の廃止

イ 水洗便所改造等融資あっ旋制度の推移

年 月	制 度 内 容 等
昭和41年 6月	限度額 40,000 円、15か月以内の均等月賦償還・利息年4.5%
昭和42年 4月	限度額 60,000 円、24か月以内の均等月賦償還 に改定
昭和47年 1月	限度額 80,000 円に改定、利子補給制度を新設
昭和49年 4月	限度額 100,000円、利息年6.0%に改定
昭和50年 4月	限度額 150,000円、36か月以内の均等月賦償還に改定
昭和54年 4月	利息年 4.0%に改定
昭和54年10月	し尿浄化槽切替工事に 100,000円を限度として融資あっ旋制度を新設
昭和55年 5月	限度額 くみ取り便所 200,000円・し尿浄化槽 150,000円に改定
昭和58年 4月	利息年 3.5%に改定
昭和59年 5月	限度額 くみ取り便所 250,000円・し尿浄化槽 200,000円に改定
昭和60年 4月	利息年 3.1%に改定
昭和62年 5月	利息年 2.5%に改定
平成 元年 5月	限度額 くみ取り便所 300,000円・し尿浄化槽 250,000円に改定
平成 6年 5月	限度額 くみ取り便所 500,000円・し尿浄化槽 300,000円に改定 (現行) 利息年2.5%、36か月以内の均等月賦償還

(2) 水洗便所改造等助成金、融資あっ旋の状況

助 成 金 ・ 融 資 あ っ 旋 実 績 表

年 度 区 分			令和3年度 (2021年度)		令和4年度 (2022年度)		令和5年度 (2023年度)		令和6年度 (2024年度)		令和7年度 (2025年度)		
			件数	金額 (円)	件数	金額 (円)	件数	金額 (円)	件数	金額 (円)	件数	金額 (円)	
助成金	改 造 工 事	大 便 器 改 造		1	10,000	0	0	0	0	1	10,000	0	0
		浄 化 槽 切 替	一 般 家 庭	3	30,000	5	50,000	3	30,000	3	30,000	4	40,000
			10 人 槽 超	1	30,000	0	0	0	0	0	0	1	70,000
		生 活 保 護		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		小 計		5	70,000	5	50,000	3	30,000	4	40,000	5	110,000
		融 資 完 済 助 成 金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合 計		5	70,000	5	50,000	3	30,000	4	40,000	5	110,000	
	融 資 あ っ 旋			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(3) 水洗化普及状況

普及状況年度別表

項目 \ 年度		単位	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
人口	A 行政区域人口	人	378,781	381,238	382,336	384,302	385,999
	B 実処理区域人口	人	378,553	381,019	382,133	384,095	385,787
	C 行政区域内 実処理人口普及率	%	99.94	99.94	99.95	99.95	99.95
	D 供用開始区域人口	人	378,505	380,969	382,084	384,053	385,741
	E 水洗化人口	人	376,987	379,525	380,660	382,658	384,722
	F 水洗化率	%	99.59	99.61	99.61	99.63	99.72
面積	G 行政区域面積	ha	3,609	3,609	3,609	3,609	3,609
	H 下水道計画区域面積	ha	3,582.03	3,582.03	3,582.03	3,582.03	3,582.03
	I 実処理区域面積	ha	3,500.34	3,500.76	3,500.80	3,500.80	3,500.80
	J 下水道計画区域内 実処理面積普及率	%	97.72	97.73	97.73	97.73	97.73
	K 供用開始区域面積	ha	3,477.04	3,477.59	3,481.13	3,481.46	3,481.46
	L 下水道計画区域内 供用開始面積普及率	%	97.07	97.08	97.18	97.19	97.19
戸数	M 行政区域戸数	戸	179,397	182,636	184,802	187,467	190,197
	N 供用開始 区域内戸数	戸	182,461	184,638	184,638	187,305	190,022
	O 水洗化戸数	戸	181,663	183,864	183,864	186,563	189,493
	P 供用開始区域内 戸数水洗化率	%	99.56	99.58	99.58	99.60	99.72

6 河川及び水路

下水道部が管理する榎木裏樋

6 河川及び水路

(1) 主な水路一覧

No	水路名	No	水路名	No	水路名	No	水路名
1	味 舌 スイ 路	10	アブラ ダニ スイ 路	19	キシ ノ モト スイ 路	28	効 畑 スイ 路
2	トウ ナン シン イ ジ 路	11	ドウ ヨウ ジ スイ 路	20	ト ツ オオ イ ジ 路	29	シモ ダイ ノ キ スイ 路
3	シン カ川 スイ 路	12	キシ ベ部 ナカ スイ 路	21	糸 田 ガワ ジョウリウ スイ 路	30	クルマ スイ 路
4	ショウ ジ 路	13	テン ドウ 2 ゴウ スイ 路	22	ヨシ ノ スイ 路	31	ソメ ノ イ スイ 路
5	タル ミ スイ 路	14	シン デン スイ 路	23	ツキ ミ スイ 路	32	ド井 イケ スイ 路
6	エ江 サカ スイ 路	15	ススキ ダニ スイ 路	24	タツ ガ イケ スイ 路	33	ウマ マワリ スイ 路
7	オオ イ 井	16	シン ナン スイ 路	25	タ ナカ スイ 路	34	イズミ チョウ スイ 路
8	オオ スミ スイ 路	17	サイ マタ スイ 路	26	コ ガネ スイ 路		
9	アナ ダ スイ 路	18	タカラ スイ 路	27	ダイ ノ キ スイ 路		

(2) 主なため池一覧

No	ため池名	所在地	ため池管理者	備考
A	シャ カ ガ イケ	岸部北4丁目、五月が丘東	釈迦ヶ池土地改良区	水防ため池(B級)
B	エ 海 ビ ガ イケ	山田西2丁目	吹田市土木部公園みどり室	
C	スナ ヨ ダニ シン イケ	春日4丁目	春日町水利組合	
D	アチラダニ シン イケ	千里山竹園1丁目	大字下新田部落有財産管理委員会	
E	ジ ゲ イケ	千里山竹園1丁目	大字下新田部落有財産管理委員会	
F	シン イケ	岸部中5丁目	岸部東農業協同組合	
G	カマ イケ	江坂町4丁目	江坂蔵人水利組合	
H	イマ イケ	原町2丁目	原部落有財産管理委員会	水防ため池(C級)
I	タツ ガ イケ	原町3丁目	原部落有財産管理委員会	
J	ミヤ が ダニ イケ	原町2丁目	原部落有財産管理委員会	
K	オウ ジ イケ	山田西4丁目	山田上自治会	水防ため池(C級)

*ため池水防計画決定基準…A級：特に重要な水防ため池 B級：重要な水防ため池 C級：要水防ため池

(3) 主な樋門一覧

樋又は堰名	所在地	管理者
ワタリ 渡	芳野町18番(馬廻水路)	吹田市
エノ 榎 キ木 ト 戸	芳野町15番(馬廻水路)	吹田土地改良区
エノ 榎 キ木 ウラ 裏	江の木町40番(馬廻水路)	吹田市
シン 新 デン 田	南吹田5丁目22番(大井路)	吹田市
コ 小	南吹田5丁目36番(大井路)	吹田土地改良区
ナカ 中 の シマ 島 トリ 取	中の島町5番(東南新井路)	神安土地改良区
カス 春 ガ 日	南高浜町36番(味舌水路)	神安土地改良区
カス 春 ガ 日 ウラ 浦	南高浜町36番(味舌水路)	吹田市
ハ 系 タ 田 カ 川 ヒロ 広 シバ 芝	広芝町1番(新川水路)	垂水水利組合
ヒロ 広	広芝町15番(垂水水路)	吹田市
エ 江 の キ木 ヨウ 公 エン 園	江の木町2番(江坂水路)	吹田市

(4) 雨水ポンプ場（吹田市管理分）

名 称	主 要 仕 様	管 理 箇 所
春 日 浦 ポ ン プ 場	30kw×4台	南高浜町36番(味舌水路)

(5) 水路改良工事

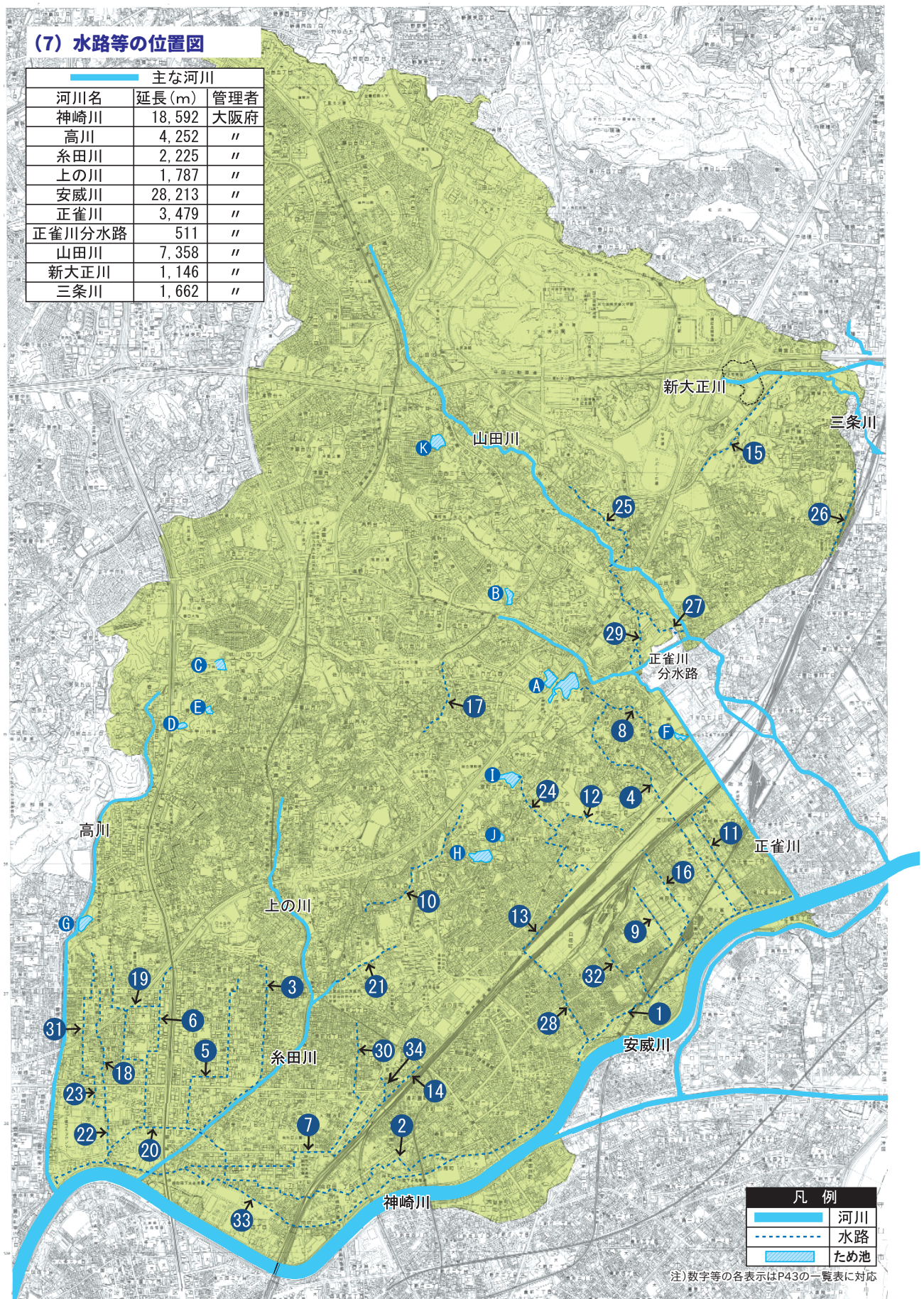
項目 \ 年度	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
水 路 名	油谷水路 山田東1丁目 ほか水路	泉町5丁目水路	—	油谷水路	油谷水路
延 長 (m)	77.35	10.2	—	79.9	36.66

(6) 水路等の維持管理

項目 \ 年度	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
水 路 し ゅ ん せ つ (m³)	0	5	18	6	0
水 路 敷 洗 い 等 清 掃 (m)	9,586	9,973	10,647	10,284	9,615

(7) 水路等の位置図

主な河川		
河川名	延長(m)	管理者
神崎川	18,592	大阪府
高川	4,252	〃
糸田川	2,225	〃
上の川	1,787	〃
安威川	28,213	〃
正雀川	3,479	〃
正雀川分水路	511	〃
山田川	7,358	〃
新大正川	1,146	〃
三条川	1,662	〃





7 下水道事業の財政

7 下水道事業の財政

(1) 下水道使用料

下水道使用料は、下水処理場の運転、下水道管の補修・清掃や施設建設の際に発行した地方債の元利償還金など、下水道の運営に必要な経費の主要な財源として徴収しています。

なお、本市では、下水道使用料の徴収を水道部に委託しています。

ア 料金体系の推移

				(税抜)						
改定年月日				S41.4.1	S51.4.1	S55.3.1	S59.4.1	S62.4.1	H8.3.1	H16.3.1
区 分										
一 般 汚 水	基本料金 1 か月 0～ 10m ³			1m ³ に つき 8円	150円	220円	335円	—	526円	683円
	1 m ³ につき	11～ 20m ³	20円		25円	38円	—	60円	78円	
		21～ 30m ³	25円		30円	47円	—	74円	96円	
		31～ 50m ³			35円	57円	—	89円	115円	
		51～ 300m ³	30円		45円	71円	—	112円	145円	
		301～1000m ³	35円		55円	85円	—	134円	174円	
		1001m ³ ～	40円		71円	110円	—	173円	224円	
場 公 汚 衆 水 浴	1 m ³ につき			5円	8円	10円	13円	—	20円	25円
前 処 理	1 m ³ につき			—	—	—	—	40円	63円	81円
水 質 使 用 料	酸 生 素 物 要 化 求 学 量 的	200～ 299mg/L	1 m ³ につき	—	2円	—	4円	—	7円	—
		300mg/L～	基本料金		4円	—	6円	—	11円	—
			100 mg/L 増すごとに 加える額		2円	—	5円	—	8円	—
	浮 遊 物 質 量	250～ 349mg/L	1 m ³ につき	—	3円	—	11円	—	26円	—
		350mg/L～	基本料金		6円	—	17円	—	40円	—
			100 mg/L 増すごとに 加える額		3円	—	12円	—	29円	—
平 均 改 定 率				—	—	48.8%	52.6%	—	56.9%	29.0%

※ 平成13年8月検針分から上記単価に消費税相当額を加算しました。

イ 有収水量及び調定額の年度別状況

(単位 : m³)

年度 区分	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
有収水量	43,130,432	42,618,713	42,593,142	42,814,035	42,886,957
川面処理区	4,381,180	4,271,402	4,344,338	4,453,369	4,564,409
南吹田処理区	14,943,215	14,694,145	14,699,857	14,856,836	14,978,858
十八条処理区	437,302	446,004	445,111	444,175	459,793
庄内処理区	1,637,476	1,593,630	1,583,884	1,575,929	1,576,218
中央処理区	21,731,259	21,613,532	21,519,952	21,483,726	21,307,679
前年度比較	▲ 5,936	▲ 511,719	▲ 25,571	220,893	72,922
前年増減率	▲ 0.01%	▲ 1.19%	▲ 0.06%	0.52%	0.17%
調 定 額	4,957,032,761円	4,914,010,332円	4,951,810,294円	4,995,200,997円	4,967,789,029円

(2) 受益者負担金

下水道が整備されると、衛生的になり生活環境は大幅に改善され、快適なものとなります。本市では、下水道の整備によって利益を受ける方に下水道建設事業費の一部を負担していただくため、受益者負担金を徴収しています。

受益者とは、公共下水道を整備する区域内の土地所有者です。ただし、その土地が地上権、質権又は使用貸借若しくは賃貸借による権利の目的となっている土地については、それぞれ地上権者、質権者、使用貸借人又は賃借人が受益者となります。（一時的使用のため設定された場合は除きます。）

ア 負担区の状況

対 象 区 域	単 位 負 担 金 額 (円)	負 担 区 面 積 (h a)	設 定 年 度	処 理 区 名
山 手	161	248	昭 和 49 年 度	南吹田処理区
豊 津	172	258	昭 和 52 年 度	南吹田処理区
千 里 山	243	228	昭 和 61 年 度	南吹田処理区
春 日	79	106	昭 和 60 年 度	庄内処理区
中 央	60	1,318	昭 和 54 年 度	中央処理区
佐 井 寺 (旧正雀処理区)	114	89	昭 和 63 年 度	中央処理区

イ 年度別収入状況

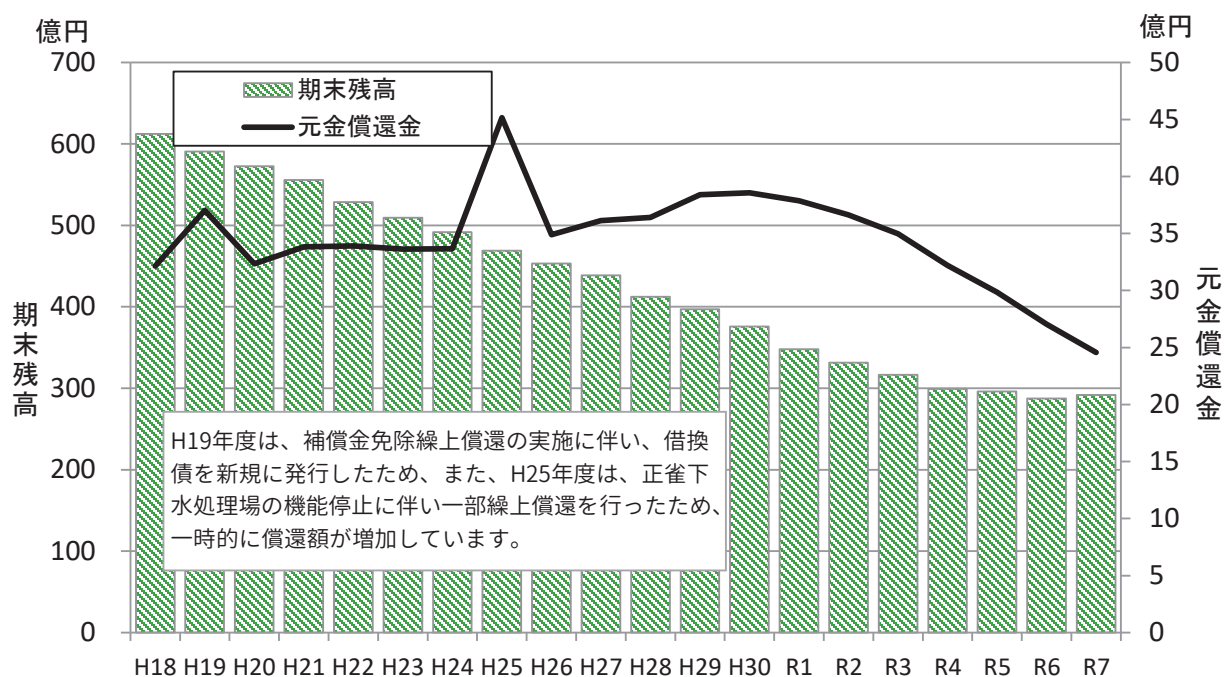
(単位：円)

年 度	区 分	調 定 額	収 入 額	不 納 欠 損 額	未 収 額	収 入 率 (%)
令和3年度 (2021年度)	現 年 度	1,739,532	1,739,532	0	0	100.0
	過 年 度	0	0	0	0	-
	合 計	1,739,532	1,739,532	0	0	100.0
令和4年度 (2022年度)	現 年 度	739,785	739,785	0	0	100.0
	過 年 度	0	0	0	0	-
	合 計	739,785	739,785	0	0	100.0
令和5年度 (2023年度)	現 年 度	64,713	64,713	0	0	100.0
	過 年 度	0	0	0	0	-
	合 計	64,713	64,713	0	0	100.0
令和6年度 (2024年度)	現 年 度	467,900	467,900	0	0	100.0
	過 年 度	0	0	0	0	-
	合 計	467,900	467,900	0	0	100.0
令和7年度 (2025年度)	現 年 度	0	0	0	0	-
	過 年 度	0	0	0	0	-
	合 計	0	0	0	0	-

(3) 企業債残高の推移

(単位：円)

年度	期首残高	企業債発行額	元金償還金	期末残高
令和3年度 (2021年度)	33,149,633,342	1,978,500,000	3,498,742,009	31,629,391,333
令和4年度 (2022年度)	31,629,391,333	1,505,400,000	3,220,388,369	29,914,402,964
令和5年度 (2023年度)	29,914,402,964	2,664,500,000	2,983,483,404	29,595,419,560
令和6年度 (2024年度)	29,595,419,560	1,841,700,000	2,703,042,374	28,734,077,186
令和7年度 (2025年度)	28,734,077,186	2,879,200,000	2,456,818,609	29,156,458,577



(4) 収益的収支

科 目 \ 年 度		令和3年度 (2021年度)		令和4年度 (2022年度)		
		金 額 (円)	構成比 (%)	金 額 (円)	構成比 (%)	対前年度 比率(%)
下 水 道 事 業 収 益		9,260,583,425	100.0	9,100,995,624	100.0	98
	営 業 収 益	7,230,570,908	78.1	7,145,876,406	78.5	99
	下 水 道 使 用 料	4,506,393,424	48.7	4,467,282,127	49.1	99
	他 会 計 負 担 金	2,715,813,280	29.3	2,669,826,530	29.3	98
	そ の 他 営 業 収 益	8,364,204	0.1	8,767,749	0.1	105
	営 業 外 収 益	1,811,589,607	19.6	1,673,519,547	18.4	92
	受取利息及び配当金	927,424	0.0	741,939	0.0	80
	他 会 計 負 担 金	47,562,927	0.5	43,389,001	0.5	91
	国 庫 補 助 金	65,466,000	0.7	68,100,000	0.7	104
	長 期 前 受 金 戻 入	1,599,258,228	17.3	1,494,688,957	16.4	93
	雑 収 益	98,375,028	1.1	66,599,650	0.7	68
	特 別 利 益	218,422,910	2.4	281,599,671	3.1	129
下 水 道 事 業 費 用		8,096,220,472	100.0	8,043,245,010	100.0	99
	営 業 費 用	7,430,820,715	91.8	7,335,030,413	91.2	99
	管 渠 費	468,016,490	5.8	473,334,411	5.9	101
	ポ ン プ 場 費	100,291,612	1.2	124,135,886	1.5	124
	処 理 場 費	1,325,454,296	16.4	1,371,066,070	17.0	103
	普 及 指 導 費	30,623,024	0.4	31,769,635	0.4	104
	業 務 費	247,552,922	3.1	240,168,688	3.0	97
	総 係 費	397,997,676	4.9	378,786,964	4.7	95
	流 域 下 水 道 管 理 運 営 負 担 金	899,542,401	11.1	891,275,627	11.1	99
	減 価 償 却 費	3,931,460,202	48.6	3,776,031,549	46.9	96
	資 産 減 耗 費	29,882,092	0.4	48,461,583	0.6	162
	営 業 外 費 用	643,942,308	8.0	567,005,512	7.0	88
	支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	534,554,562	6.6	458,999,202	5.7	86
	雑 支 出	109,387,746	1.4	108,006,310	1.3	99
	特 別 損 失	21,457,449	0.3	141,209,085	1.8	658
単 年 度 純 利 益		1,164,362,953		1,057,750,614		
そ の 他 未 処 分 利 益 剰 余 金 変 動 額		1,042,508,377		898,965,163		
利 益 剰 余 金 処 分 額		2,206,871,330		1,956,715,777		
繰 越 利 益 剰 余 金		0		0		

(注)構成比は小数第2位を四捨五入していますので、合計の数字と内訳の合計とは一致しないことがあります。

※利益剰余金の処分は議決案件となるため、議決前における利益剰余金処分額は(案)としての記載となります。

(税抜)

令和 5 年度 (2023年度)			令和 6 年度 (2024年度)			令和 7 年度 (2025年度)		
金 額 (円)	構成比 (%)	対前年度 比率(%)	金 額 (円)	構成比 (%)	対前年度 比率(%)	金 額 (円)	構成比 (%)	対前年度 比率(%)
9,101,477,161	100.0	100	9,558,164,599	100.0	105	9,268,143,171	100.0	97
7,202,870,862	79.1	101	7,346,210,088	76.9	102	7,368,214,002	79.5	100
4,501,645,727	49.5	101	4,541,091,822	47.5	101	4,516,171,850	48.7	99
2,692,576,374	29.6	101	2,796,780,322	29.3	104	2,843,722,648	30.7	102
8,648,761	0.1	99	8,337,944	0.1	96	8,319,504	0.1	100
1,658,979,766	18.2	99	1,788,065,231	18.7	108	1,716,489,494	18.5	96
556,454	0.0	75	370,969	0.0	67	749,524	0.0	202
47,738,867	0.5	110	45,859,539	0.5	96	51,503,758	0.6	112
81,400,000	0.9	120	132,200,000	1.4	162	146,175,000	1.6	111
1,471,481,358	16.2	98	1,452,417,840	15.2	99	1,444,005,372	15.6	99
57,803,087	0.6	87	157,216,883	1.6	272	74,055,840	0.8	47
239,626,533	2.6	85	423,889,280	4.4	177	183,439,675	2.0	43
8,250,363,404	100.0	103	8,788,778,499	100.0	107	8,484,157,601	100.0	97
7,630,672,889	92.5	104	7,852,430,737	89.3	103	7,979,504,740	94.1	102
447,271,965	5.4	94	500,635,966	5.7	112	607,383,987	7.2	121
106,794,906	1.3	86	96,725,982	1.1	91	150,887,453	1.8	156
1,440,800,895	17.5	105	1,579,449,471	18.0	110	1,518,622,046	17.9	96
32,655,857	0.4	103	34,442,976	0.4	105	32,448,674	0.4	94
247,272,979	3.0	103	269,462,826	3.1	109	276,209,421	3.3	103
418,612,836	5.1	111	491,525,125	5.6	117	396,961,352	4.7	81
1,103,601,063	13.4	124	1,086,506,486	12.4	98	1,153,192,903	13.6	106
3,706,578,387	44.9	98	3,792,952,854	43.2	102	3,751,284,554	44.2	99
127,084,001	1.5	262	729,051	0.0	1	92,514,350	1.1	12,690
522,754,151	6.3	92	531,985,190	6.1	102	504,196,756	5.9	95
405,427,240	4.9	88	381,996,499	4.3	94	371,892,810	4.4	97
117,326,911	1.4	109	149,988,691	1.7	128	132,303,946	1.6	88
96,936,364	1.2	69	404,362,572	4.6	417	456,105	0.0	0
851,113,757			769,386,100			783,985,570		
1,164,362,953			1,080,988,323			851,113,757		
2,015,476,710			1,850,374,423		※	1,635,099,327		
0			0			0		

(5) 資本的収支

年 度 科 目			令和 3 年度 (2 0 2 1 年度)		令和 4 年度 (2 0 2 2 年度)		
			金 額 (円)	構成比 (%)	金 額 (円)	構成比 (%)	対前年度 比率(%)
資 本 的 収 入			3,188,998,466	100.0	2,607,489,683	100.0	82
	企 業 債		1,978,500,000	62.0	1,505,400,000	57.7	76
	他 会 計 負 担 金		72,893,515	2.3	43,796,160	1.7	60
	国 庫 補 助 金		850,813,000	26.7	783,988,000	30.1	92
	負 担 金 等		283,673,157	8.9	271,186,729	10.4	96
	固 定 資 産 売 却 代 金		3,118,794	0.1	3,118,794	0.1	100
資 本 的 支 出			6,761,185,755	100.0	5,954,006,731	100.0	88
	建 設 改 良 費		3,194,150,176	47.2	2,727,058,072	45.8	85
		管 渠 建 設 改 良 費	2,307,230,999	34.1	2,177,456,932	36.6	94
		ポ ン プ 場 建 設 改 良 費	185,878,000	2.7	77,375,000	1.3	42
		処 理 場 建 設 改 良 費	579,179,923	8.6	392,807,209	6.6	68
		流 域 下 水 道 建 設 費 負 担 金	121,861,254	1.8	79,418,931	1.3	65
	企 業 債 償 還 金		3,498,742,009	51.7	3,220,388,369	54.1	92
	固 定 資 産 購 入 費		68,293,570	1.0	6,560,290	0.1	10
差 引 過 不 足 (△)			△ 3,572,187,289		△ 3,346,517,048		

(注)構成比は小数第2位を四捨五入していますので、合計の数字と内訳の合計とは一致しないことがあります。

(税込)

令和 5 年度 (2023年度)			令和 6 年度 (2024年度)			令和 7 年度 (2025年度)		
金 額 (円)	構成比 (%)	対前年度 比率(%)	金 額 (円)	構成比 (%)	対前年度 比率(%)	金 額 (円)	構成比 (%)	対前年度 比率(%)
4,104,271,963	100.0	157	2,535,745,870	100.0	62	4,059,381,503	100.0	160
2,664,500,000	64.9	177	1,841,700,000	72.6	69	2,879,200,000	70.9	156
20,699,132	0.5	47	11,481,176	0.5	55	14,464,539	0.4	126
1,383,739,000	33.7	177	678,978,000	26.8	49	1,140,500,000	28.1	168
32,215,037	0.8	12	467,900	0.0	1	22,098,170	0.5	4,723
3,118,794	0.1	100	3,118,794	0.1	100	3,118,794	0.1	100
7,208,060,676	100.0	121	5,465,931,362	100.0	76	6,687,660,022	100.0	122
4,197,215,564	58.2	154	2,693,037,888	49.3	64	4,228,583,213	63.2	157
3,512,908,140	48.7	161	1,916,839,519	35.1	55	2,867,048,072	42.9	150
141,850,245	2.0	183	0	0.0	皆減	283,645,000	4.2	皆増
457,520,208	6.3	116	698,979,084	12.8	153	933,053,834	14.0	133
84,936,971	1.2	107	77,219,285	1.4	91	144,836,307	2.2	188
2,983,483,404	41.4	93	2,703,042,374	49.5	91	2,456,818,609	36.7	91
27,361,708	0.4	417	69,851,100	1.3	255	2,258,200	0.0	3
△ 3,103,788,713			△ 2,930,185,492			△ 2,628,278,519		

(6) 貸借対照表

区 分 \ 年 度			令和 3 年度（2021年度） （令和4年3月31日現在）		令和 4 年度（2022年度） （令和5年3月31日現在）		
			金 額（円）	構成比 （%）	金 額（円）	構成比 （%）	対前年度 比率（%）
資 産 合 計			99,121,789,246	100.0	98,947,269,546	100.0	100
7 下水道事業 等の財政	固 定 資 産 合 計		93,550,510,954	94.4	92,982,620,232	94.0	99
	有 形 固 定 資 産	土 地	5,327,807,582	5.4	5,327,807,582	5.4	100
		建 物	1,653,211,041	1.7	1,578,405,966	1.6	95
		構 築 物	67,541,517,824	68.1	67,181,856,665	67.9	99
		機 械 及 び 装 置	7,789,635,179	7.9	7,411,805,227	7.5	95
		車 両 運 搬 具	55,825	0.0	48,550	0.0	87
		工 具 器 具 及 び 備 品	7,445,163	0.0	12,204,797	0.0	164
		建 設 仮 勘 定	6,620,614,708	6.7	7,152,757,618	7.2	108
		無 形 固 定 資 産	3,868,283,564	3.9	3,761,278,776	3.8	97
		施 設 利 用 権 ソ フ ト ウ ェ ア ソ フ ト ウ ェ ア 仮 勘 定	3,866,717,510	3.9	3,760,396,016	3.8	97
			1,566,054	0.0	882,760	0.0	56
			－	－	－	－	－
	投 資 そ の 他 の 資 産	741,940,068	0.7	556,455,051	0.6	75	
		土 地 年 賦 未 収 金	741,940,068	0.7	556,455,051	0.6	75
	流 動 資 産 合 計		5,571,278,292	5.6	5,964,649,314	6.0	107
		現 金 ・ 預 金		4,275,962,971	4.3	4,789,177,114	4.8
未 収 金		1,295,315,321	1.3	1,175,472,200	1.2	91	
前 払 金		－	－	－	－	－	
負 債 資 本 合 計			99,121,789,246	100.0	98,947,269,546	100.0	100
負 債 合 計			69,440,465,875	70.1	68,207,807,699	68.9	98
7 下水道事業 等の財政	固 定 負 債		29,330,884,274	29.6	27,718,327,754	28.0	95
	企 業 債 引 当 金	28,409,002,964	28.7	26,930,919,560	27.2	95	
		192,416,418	0.2	240,309,525	0.2	125	
		192,416,418	0.2	240,309,525	0.2	125	
		繰 延 年 賦 売 却 益	729,464,892	0.7	547,098,669	0.6	75
	流 動 負 債		5,173,480,860	5.2	5,052,726,732	5.1	98
	企 業 債 未 払 金 預 り 金 前 受 金 引 当 金	3,220,388,369	3.2	2,983,483,404	3.0	93	
		1,919,300,879	1.9	2,031,788,319	2.1	106	
		7,175,677	0.0	5,156,456	0.0	72	
		－	－	－	－	－	
		26,615,935	0.0	32,298,553	0.0	121	
	繰 延 収 益		34,936,100,741	35.2	35,436,753,213	35.8	101
資 本 合 計			29,681,323,371	29.9	30,739,461,847	31.1	104
7 下水道事業 等の財政	資 本 金		23,272,007,544	23.5	24,319,190,971	24.6	104
		資 本 金	23,272,007,544	23.5	24,319,190,971	24.6	104
	剰 余 金 合 計		6,409,315,827	6.5	6,420,270,876	6.5	100
		資 本 剰 余 金	3,057,344,253	3.1	3,053,057,065	3.1	100
		利 益 剰 余 金	3,351,971,574	3.4	3,367,213,811	3.4	100

(注)構成比は小数第2位を四捨五入していますので、合計の数字と内訳の合計とは一致しないことがあります。

令和5年度（2023年度） （令和6年3月31日現在）			令和6年度（2024年度） （令和7年3月31日現在）			令和7年度（2025年度） （令和8年3月31日現在）		
金 額（円）	構成比 （%）	対前年度 比率（%）	金 額（円）	構成比 （%）	対前年度 比率（%）	金 額（円）	構成比 （%）	対前年度 比率（%）
99,592,317,306	100.0	101	98,484,144,313	100.0	99	100,358,022,657	100.0	102
92,943,972,284	93.3	100	91,788,615,858	93.2	99	92,028,388,241	91.7	100
88,890,961,901	89.3	100	87,971,661,320	89.3	99	88,457,642,123	88.1	101
5,327,807,582	5.3	100	5,327,807,582	5.4	100	5,327,807,582	5.3	100
1,558,535,399	1.6	99	1,637,308,328	1.7	105	1,640,373,902	1.6	100
72,519,114,659	72.8	108	71,099,863,440	72.2	98	69,843,262,077	69.6	98
7,218,751,648	7.2	97	6,544,372,552	6.6	91	7,370,981,910	7.3	113
48,550	0.0	100	48,550	0.0	100	14,550	0.0	30
13,378,160	0.0	110	17,585,362	0.0	131	16,684,513	0.0	95
2,253,325,903	2.3	32	3,344,675,506	3.4	148	4,258,517,589	4.2	127
3,682,040,349	3.7	98	3,631,469,521	3.7	99	3,570,746,118	3.6	98
3,660,128,149	3.7	97	3,553,192,021	3.6	97	3,508,124,118	3.5	99
258,200	0.0	29	78,277,500	0.1	30317	62,622,000	0.1	80
21,654,000	0.0	皆増	－	－	皆減	－	－	－
370,970,034	0.4	67	185,485,017	0.2	50	－	－	皆減
370,970,034	0.4	67	185,485,017	0.2	50	－	－	皆減
6,648,345,022	6.7	111	6,695,528,455	6.8	101	8,329,634,416	8.3	124
5,614,998,840	5.6	117	5,596,212,143	5.7	100	7,205,037,736	7.2	129
1,033,346,182	1.0	88	985,884,312	1.0	95	979,321,680	1.0	99
－	－	－	113,432,000	0.1	皆増	145,275,000	0.1	128
99,592,317,306	100.0	101	98,484,144,313	100.0	99	100,358,022,657	100.0	102
68,000,615,657	68.3	100	66,121,907,865	67.1	97	67,210,705,104	67.0	102
27,561,276,352	27.7	99	26,748,629,044	27.2	97	27,390,890,081	27.3	102
26,892,377,186	27.0	100	26,277,258,577	26.7	98	27,018,330,039	26.9	103
304,166,720	0.3	127	289,004,244	0.3	95	372,560,042	0.4	129
304,166,720	0.3	127	289,004,244	0.3	95	372,560,042	0.4	129
364,732,446	0.4	67	182,366,223	0.2	50	－	－	皆減
5,052,513,724	5.1	100	4,512,515,579	4.6	89	4,933,947,567	4.9	109
2,703,042,374	2.7	91	2,456,818,609	2.5	91	2,138,128,538	2.1	87
2,309,470,137	2.3	114	2,013,334,987	2.0	87	2,414,453,772	2.4	120
7,061,301	0.0	137	7,118,286	0.0	101	3,392,340	0.0	48
－	－	－	－	－	－	341,198,000	0.3	皆増
32,939,912	0.0	102	35,243,697	0.0	107	36,774,917	0.0	104
35,386,825,581	35.5	100	34,860,763,242	35.4	99	34,885,867,456	34.8	100
31,591,701,649	31.7	103	32,362,236,448	32.9	102	33,147,317,553	33.0	102
25,218,156,134	25.3	104	26,382,519,087	26.8	105	27,463,507,410	27.4	104
25,218,156,134	25.3	104	26,382,519,087	26.8	105	27,463,507,410	27.4	104
6,373,545,515	6.4	99	5,979,717,361	6.1	94	5,683,810,143	5.7	95
3,054,183,110	3.1	100	3,055,331,809	3.1	100	3,056,427,344	3.0	100
3,319,362,405	3.3	99	2,924,385,552	3.0	88	2,627,382,799	2.6	90

(7) 財務経営指標

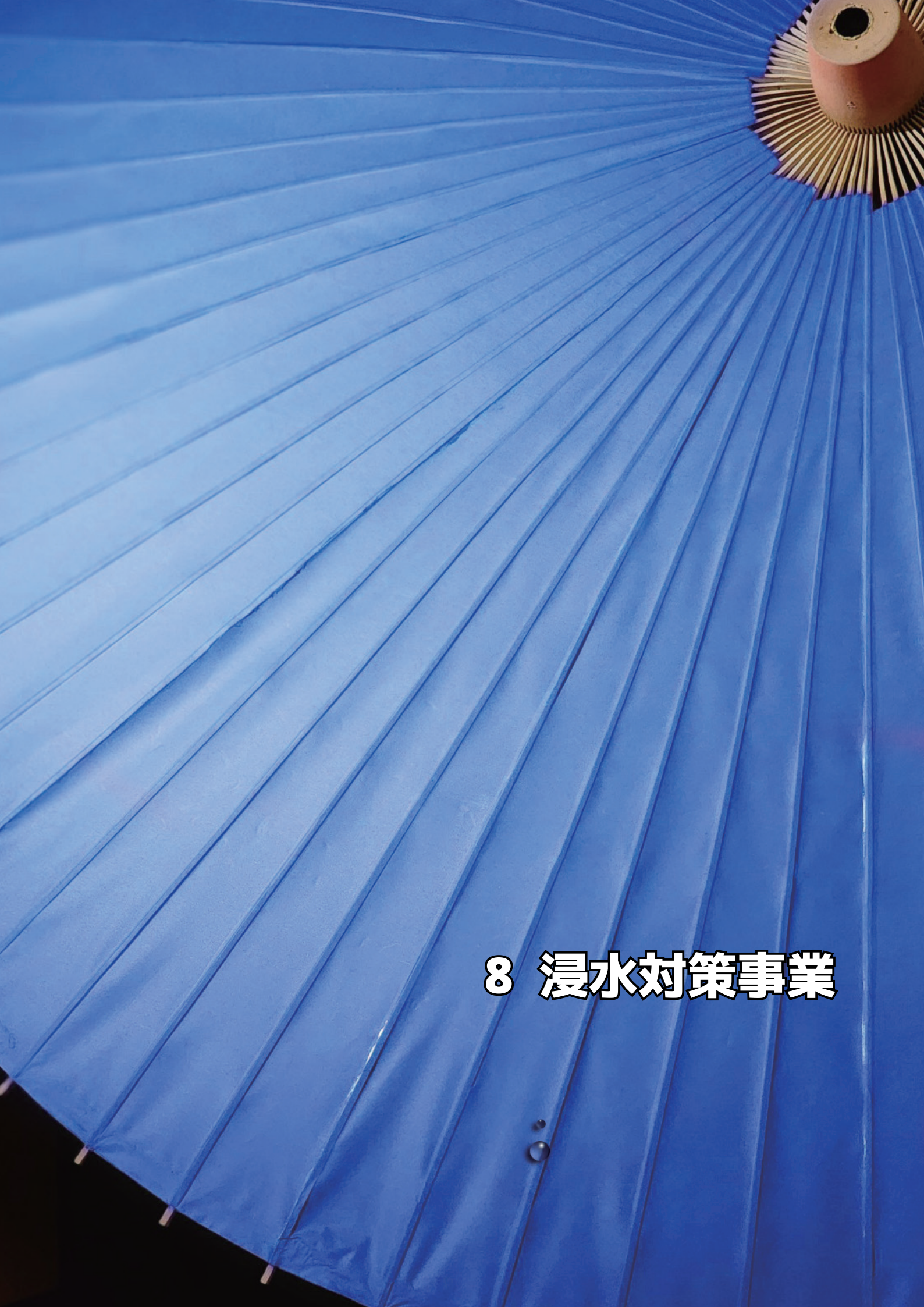
項 目	算 式	指標の解説
1 経常収支比率	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$	料金収入や一般会計からの繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表す指標。
2 流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	短期的な債務に対する支払能力を表す指標。
3 企業債残高対事業規模比率	$\frac{\text{企業債現在高} - \text{一般会計負担額}}{\text{営業収益} - \text{受託工事収益} - \text{雨水処理負担金}} \times 100$	料金収入に対する企業債残高の割合であり、企業債残高の規模を表す指標。
4 使用料単価	$\frac{\text{下水道使用料}}{\text{年間有収水量}}$	有収水量1㎡あたりの使用料収入。下水道サービスの観点からは低い方が望ましいが、事業環境に大きな差があるため、この指標の水準だけでは、経営の優劣を判断することは難しい。
5 汚水処理原価	$\frac{\text{汚水処理費}}{\text{年間有収水量}}$	有収水量1㎡あたりの汚水処理に要した費用。下水道サービスの観点からは低い方が望ましいが、放流先や地形、先行投資などの影響を受けるため、この指標の水準だけでは、経営の優劣を判断することは難しい。
6 経費回収率	$\frac{\text{下水道使用料}}{\text{汚水処理費}} \times 100$	使用料で回収すべき経費を、どの程度使用料で賄えているかを表した指標。
7 施設利用率	$\frac{\text{晴天時一日平均処理水量}}{\text{晴天時現在処理能力}} \times 100$	施設・設備が一日に対応可能な処理能力に対する、一日平均処理水量の割合であり、施設の利用状況や適性規模を判断する指標。
8 有収率	$\frac{\text{年間有収水量}}{\text{年間汚水処理水量}} \times 100$	有収水量の汚水処理水量に対する比率。
9 普及率	$\frac{\text{現在処理区域内人口}}{\text{行政区域内人口}} \times 100$	行政区域内人口のうち、処理開始が公示された処理区域内人口の割合を表した指標。
10 水洗化率	$\frac{\text{現在水洗便所設置済人口}}{\text{現在処理区域内人口}} \times 100$	現在処理区域内人口のうち、実際に水洗便所を設置している人口の割合を表した指標。
11 有形固定資産減価償却率 (貸借対照表から算出)	$\frac{\text{有形固定資産減価償却累計額}}{\text{有形固定資産のうち償却対象資産の帳簿価額}} \times 100$	有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表す指標で、資産の老朽化度合を示している。
12 有形固定資産減価償却率 (原始取得価額から算出)		
13 管渠老朽化率	$\frac{\text{法定耐用年数を経過した管渠延長}}{\text{下水道布設延長}} \times 100$	法定耐用年数を超えた管渠延長の割合を表した指標で、管渠の老朽化度合を示している。
14 管渠改善率	$\frac{\text{改善(更新・改良・維持)管渠延長}}{\text{下水道布設延長}} \times 100$	当該年度に改善した管渠延長の割合を表した指標。管渠老朽化率が低い場合、一般的に本指標も低くなる。

(注) 1. 指標の優位性／「↑」は数値が高い方が望ましい場合、「↓」は数値が低い方が望ましい場合を表している。

2. 算式については総務省基準により算出している。

指標の 優位性	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和6年度 公共下水道事業	
		吹 田 市					類似団体 (区分A a) 平均	全国平均
↑	%	111.98	111.61	108.69	108.94	107.08	106.80	105.36
↑	%	107.69	118.05	131.58	148.38	168.82	120.78	82.75
↓	%	328.18	312.08	304.99	287.12	291.72	447.27	602.56
↓	円/㎥	104.48	104.82	105.69	106.07	105.30	115.99	134.59
↓	円/㎥	87.71	88.54	94.29	97.44	98.74	114.28	140.98
↑	%	119.12	118.39	112.09	108.85	106.65	101.50	97.94
↑	%	56.29	55.49	56.38	57.46	56.97	61.96	60.13
↑	%	76.72	79.39	78.22	78.50	80.56	81.76	79.54
↑	%	99.93	99.93	99.93	99.94	99.93	95.27	83.53
↑	%	99.60	99.62	99.63	99.64	99.74	97.51	96.00
	%	20.11	23.14	24.52	27.47	29.83	31.67	42.20
↓	%	55.43	56.35	55.45	56.64	57.36	—	—
↓	%	24.58	26.59	27.84	29.39	29.98	15.32	9.46
↑	%	0.38	0.41	0.26	0.41	0.40	0.16	0.19

3. 類似団体（区分A a）とは処理区域内人口区分10万人以上（政令市等を除く）で処理区域内人口密度区分100人/ha以上の34事業体。（川口市、草加市、越谷市、戸田市、朝霞市、新座市、富士見市、ふじみ野市、市川市、船橋市、松戸市、習志野市、流山市、浦安市、武蔵野市、三鷹市、調布市、小金井市、国分寺市、西東京市、茅ヶ崎市、大和市、海老名市、座間市、豊中市、吹田市、高槻市、守口市、枚方市、茨木市、寝屋川市、松原市、門真市、尼崎市）
総務省令和6年度「経営比較分析表」類似団体区分「公共下水道区分一覧表」より

A large blue umbrella is shown from a low angle, looking up towards the handle. The umbrella is fully open, and its ribs are visible, creating a radial pattern. The handle is made of light-colored wood and has a red cap. The background is a clear blue sky.

8 浸水対策事業

8 浸水対策事業

(1) 雨水レベルアップ整備事業

ア 事業の概要

市の南部区域は低地となっており、一部ポンプ排水が必要な雨に弱い地形になっています。特に市域の約1/4にあたる838ha（南吹田処理区の合流区域及び川面処理区）については、下水道整備の初期に建設を行ったため、施設の整備水準が低くなっており常襲的に浸水が発生しています。

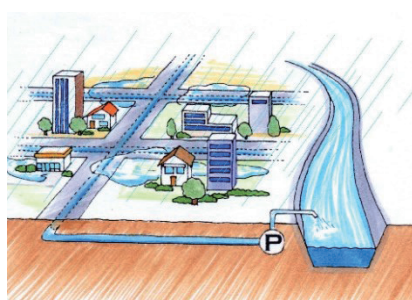
本市の雨水レベルアップ整備事業は、この838haの区域において、すでに整備した下水道施設、既存施設を有効に活用し、その能力を超える分を新たな増

強施設で対応します。

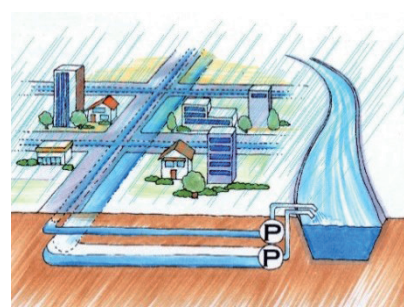
全体の事業としては、内径0.8～3.75mの増強管を約13km整備することと、雨水を神崎川に放流するために30m³/秒の雨水排水ポンプを増強することです。

全体の総事業費が高額になることと、全体の整備期間が長期になることから、早期計画と基本計画をたて、事業の効果を早期に発揮させるように努めています。

段階	早期計画	基本計画
目標レベル	常襲的浸水の解消を図る 確率年：5年 降雨強度：44mm/時	基本計画の目標達成 確率年：10年 降雨強度：（約）50mm/時
整備方針	早期に浸水対策を図るため、幹線を先行建設し、これを暫定的に貯留施設として運用します。	南吹田下水処理場に30m ³ /秒の排水能力を持つポンプ施設を増強します。流下・排水と貯留機能を合わせ持った増強施設が完成します。
概算整備費用	約267億円	約195億円
合計	約462億円	



現在、3年に1回程度生じる降雨（約30mm/時）で、道路冠水などが生じています。



最大内径3.75mの増強管と増強ポンプ
既存の下水道管はそのまま有効に活用し、能力を超える雨水対策として増強管の埋設と増強ポンプの整備を行います。

雨水レベルアップ整備事業のしくみ



雨水レベルアップ対象区域及び増強管計画路線図

イ 事業の経過

平成 10 年度～11 年度	基本計画策定
平成 15 年 3 月	下水道法事業認可取得
平成 16 年度	発進基地整備工事着手（江の木公園）
平成 17 年度	工事着手（豊津工区）
平成 21 年度～	雨水貯留管及びポンプ供用開始（豊津工区）
平成 23 年度	工事完成（豊津工区） 貯留能力 約 15,000m ³ ポンプ仕様 $\phi 200 \text{ mm} \times 5.2 \text{ m}^3 / \text{分} \times 17.5 \text{ m} \times 30 \text{ kW} \times 2 \text{ 台}$
平成 27 年 3 月	下水道法事業計画変更
平成 28 年度	工事着手（中の島・片山工区 1 工区）
令和 2 年度	工事着手（中の島・片山工区 2 工区、3 工区）＊分水人孔
令和 5 年度	工事完成（中の島・片山工区） 貯留能力 約 17,500m ³ ポンプ仕様 $\phi 300 \text{ mm} \times 12.2 \text{ m}^3 / \text{分} \times 23 \text{ m} \times 75 \text{ kW} \times 2 \text{ 台}$

ウ 事業実施の効果

豊津工区における雨水レベルアップ貯留管の直近5か年の主な流入実績、中の島・片山工区における令和6年度からの流入実績は下記のとおりです。

雨水レベルアップ貯留管の主な流入実績（100 m³以上）

年度	主な流入実績(豊津工区)			主な流入実績(中の島・片山工区)	
	日付	貯留量 (m ³)	貯留割合 (%)	貯留量 (m ³)	貯留割合 (%)
令和3年度 (2021年度)	5月20日	約5,030	34		
	6月23日	約150	1		
	7月7日	約3,010	20		
	7月8日	約820	5		
	8月13日	約1,390	9		
	8月17日	約920	6		
	9月4日	約220	1		
令和4年度 (2022年度)	7月9日	約290	2		
	7月12日	約1,680	11		
	8月16日	約2,870	19		
	8月31日	約240	2		
令和5年度 (2023年度)	7月9日	約290	2		
	7月12日	約1,680	11		
	8月16日	約2,870	19		
	8月31日	約240	2		
	8月24日	約4,990	33		
	8月25日	約1,060	7		
	9月10日	約3,480	23		
令和6年度 (2024年度)	5月28日	約340	2	約7,560	43
	6月28日	約140	1		
	7月16日	約4,170	28		
	8月4日	約480	3		
	8月6日	約500	3		
	8月14日				
	8月20日				
	9月12日	約5,010	34		
	9月20日				
	11月2日	約8,750	59		
令和7年度 (2025年度)	5月17日			約668	4
	5月24日			約375	2
	6月11日			約821	5
	6月23日			約2,261	13
	7月8日			約316	2
	7月11日			約2,930	17
	7月24日			約437	2
	8月21日			約275	2
	9月12日	約3,532	24	約2,328	13
	9月29日			約323	2
	10月18日			約594	3
	3月27日			約296	2

※豊津工区の貯留管の容量は15,000 m³、中の島・片山工区の貯留管の容量は17,500 m³

※主な流入実績の貯留量は、雨水排水ポンプの排水量を記載

(2) 雨水整備率 雨水計画面積は、3582.034ha

年 度	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
区 分					
整 備 率 (%)	54.03	54.08	54.09	54.10	54.20
整 備 面 積 (ha)	1,937.090	1,937.590	1,937.740	1,937.740	1,941.330

(3) その他浸水対策

ア 止水板設置助成状況

年 度	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	合計
区 分						
止 水 板 (件)	0	0	2	0	0	2
止 水 製 品 (件)	0	0	6	0	0	6
合 計	0	0	8	0	0	8

※平成28年度から、止水板設置助成制度を開始しました。

イ 土のう配付

年 度	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	合計
区 分						
要 請 数 (件)	51	24	30	66	11	182
配 付 数 (袋)	1,656	706	743	1,289	167	4,561

ウ 内水浸水シミュレーション

作 成 年 度	令和7年度（2025年度）				
想 定 降 雨	想定最大規模降雨（1000年に1回程度の雨） 近隣市の既往最大降雨（豊中観測所）の降り方をベースに、1時間の降雨量を想定最大規模降雨まで引き延ばした。				
時 間 雨 量	147mm/時（参考：猛烈な雨80mm/時）	10 分 雨 量	38mm		

既存の下水道施設及び地表面モデルにより内水浸水をシミュレーションした浸水情報は、浸水に係るソフト対策として「吹田市内水ハザードマップ」（総務部危機管理室作成）に反映されています。

エ 上の川調節池

上の川上流部の沿線は、線路や道路、住宅が接近し川幅を広げられないため、度々河川からの越水による浸水が発生していました。対策として大雨時に一時的に

貯めるために作った施設です。
※大阪府河川施設（協定により吹田市が管理）

完 成 年 度	平成14年度（2002年度） ※平成28年度（2016年度）一部改良		
規 模	約40m×約57m、深さ8m	貯 留 量	9100m ³
設 置 箇 所	千里山東2丁目5番（千里山東公園地下部）		

(4) 浸水被害状況 ※被害件数は、市民からの通報等を基に市が現地確認した件数

年 度	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	合計
区 分						
民 家 床 上 浸 水 (件)	0	0	0	0	0	0
民 家 床 下 浸 水 (件)	1	0	1	1	0	3
店 舗 等 の 床 浸 水 (件)	0	1	0	0	0	1
地 下 施 設 浸 水 (件)	1	1	1	0	0	3
道 路 冠 水 (件)	8	1	3	3	1	16
合 計	10	3	5	4	1	23



9 安威川流域下水道の概要

流域の幹線につながる管渠

9 安威川流域下水道の概要

(1) 事業の概要

安威川流域下水道は、淀川水系安威川の流域を処理区とした流域下水道で、昭和42年9月に都市計画決定及び同事業認可を受け、昭和42年度から事業に着手し、昭和45年3月に開催された日本万国博覧会にあわせて、中央処理場（現：中央水みらいセンター）で40,000m³/日の規模で通水を行いました。

流域下水道の新設としては全国第1号となり、昭和47年7月に供用開始をしています。令和6年度末の普及率は99.8%、管渠延長、処理能力については全体計画に対して、令和6年度末でそれぞれ99.3%と77.7%の進捗率となっています。

◆安威川流域下水道中央水みらいセンターの概要

処理区域面積 8,753ha 処理人口 583,720人 処理水量 329,500m³/日 幹線延長 54,490m

箇所数 / 敷地面積 1箇所 / 225,880m²

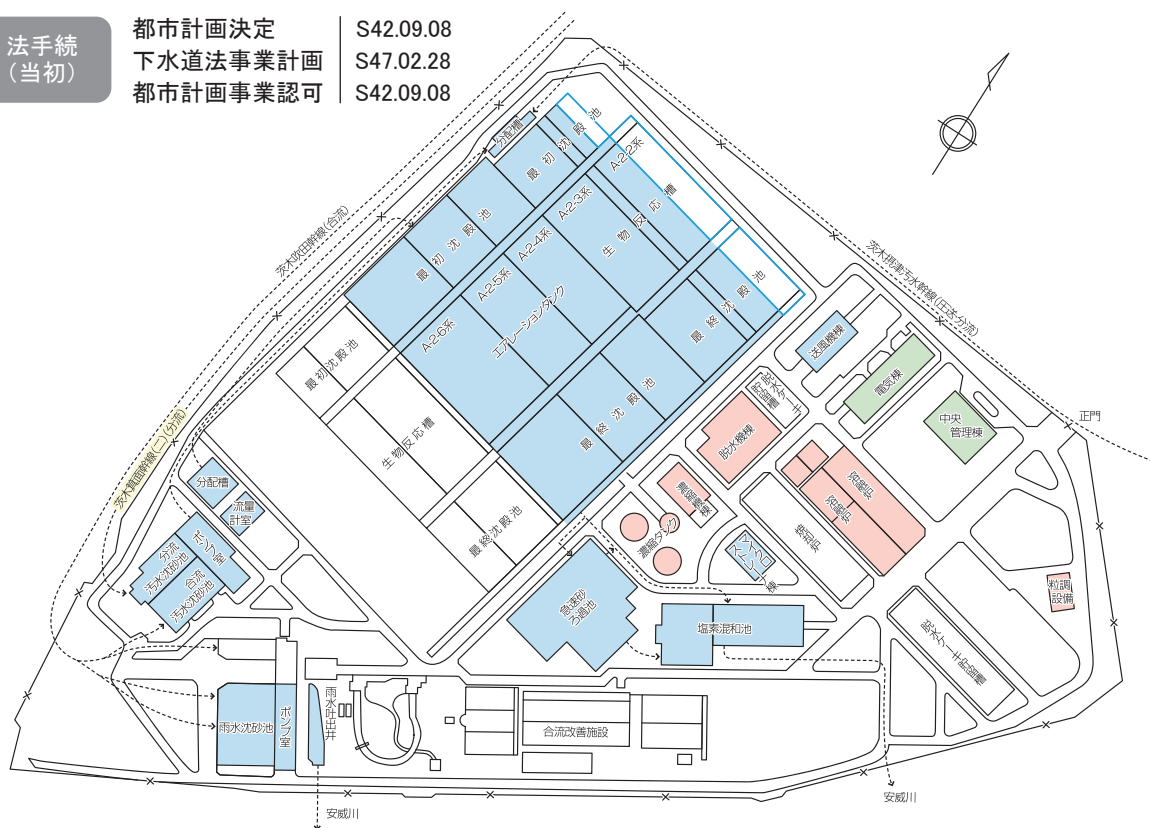
ポンプ場 計画放流量	穂積	岸部	味舌	摂津
	22.1m ³ /s	38.1m ³ /s	35.6m ³ /s	79.1m ³ /s

事業主体 大阪府

関係都市 計6市／茨木市、吹田市、高槻市、摂津市、箕面市、豊中市

主要河川 安威川、山田川、正雀川、大正川

法手続 (当初)	都市計画決定	S42.09.08
	下水道法事業計画	S47.02.28
	都市計画事業認可	S42.09.08



安威川流域下水道中央水みらいセンター 一般平面図

(2) 安威川流域下水道の計画内容及び実施状況

令和6年度末 大阪府下水道統計より

ア 全体計画及び事業計画内容

区 分	全体計画	下水道法事業計画	都市計画法事業認可
処理面積 (ha)	8,753	7,756	
処理人口 (人)	583,720	561,875	
処理能力 (m ³ /日)	329,500	281,260	
管渠延長 (m)	54,490	54,490	42,560
ポンプ場数 (箇所)	4	4	4

イ 都市別内訳

都市名	区 分	全体計画	令和6年度末			
		処理面積 (ha)	計画区域内人口 (人)	整備面積 (ha)	整備人口 (人)	普及率 (%)
豊中市		12	2,974	12	2,974	100.0
吹田市		2,221	204,814	2,142	204,649	99.9
高槻市		422	11,315	134	11,057	97.7
茨木市		4,133	235,011	2,491	234,537	99.8
箕面市		705	43,023	616	43,023	100.0
摂津市		1,261	86,300	1,127	85,755	99.4
計		8,754	583,437	6,522	581,995	99.8

※ 普及率は人口普及率（整備人口／計画区域内人口）

ウ 施設内容

① 管渠

幹線名	全体計画		令和6年度末 延長 (m)
	管径 (mm)	延長 (m)	
茨木吹田幹線 (一)	φ 2,000～□ 8,400 × 4,200	5,240	5,240
山田幹線	φ 2,000～□ 3,000 × 2,100	2,480	2,480
岸部幹線	φ 800～□ 3,300 × 3,300	3,910	3,910
茨木箕面幹線 (一)	φ 1,200～φ 3,600	6,490	6,490
千里幹線	φ 1,500～□ 3,750 × 4,600	1,620	1,620
摂津高槻汚水幹線	φ 700～□ 1,100 × 1,100	4,710	4,710
摂津高槻雨水幹線	φ 3,500～φ 4,250	4,320	4,320
茨木摂津汚水幹線	φ 700～□ 1,500 × 1,500	5,420	5,420
茨木摂津雨水幹線	φ 3,750～□ 9,000 × 4,500	3,940	3,940
茨木摂津合流幹線	□ 2,700 × 2,700～□ 4,100 × 3,290	1,390	1,390
茨木箕面幹線 (二)	φ 1,650～φ 2,400	8,820	8,820
茨木吹田幹線 (二)	φ 1,650～φ 1,650	2,880	2,519
千里山田幹線	φ 1,200～φ 2,000	3,270	3,270
計		54,490	54,129

②ポンプ

ポンプ場 名	全体計画						令和6年度末			計画 放流量 (放流先) (m³/秒)	
	用途	口径 (mm)	1台当り 揚水量 (m³/分)	台数 (台)	揚水量		台数 (台)	揚水量			
					(m³/分)	(m³/秒)		(m³/分)	(m³/秒)		
岸部 ポンプ場	汚水	φ200	5.4	2	10.8		2	10.8		安威川 38.1	
	〃	φ400	22.5	1	22.5		1	22.5			
	〃	φ700	50.7	1	50.7		—	—			
	雨水	φ1,600	421	—	—	—	2	842	14.0		
	〃	φ1,600	340	—	—	—	—	—			
	〃	φ1,800	710	2 (1)	1,420 710	— —	1 —	525 —	8.8		
	〃	φ2,000	525	3	1,575	—	2	1,050	17.5		
穂積 ポンプ場	汚水	φ700	65	1	65		2 (1)	130 (65)		大正川 22.1	
	〃	φ350	13	2 (1)	26 13		2	26			
	雨水	φ1,400	277	—	—	—	1	277	4.6		
	〃	φ1,500	325	—	—	—	2	650	10.8		
	〃	φ1,650	441.6	4 (1)	1,766 441.6	29.4 7.4	2 —	883.2 —	14.7 —		
味舌 ポンプ場	(千里系)										安威川 35.6
	汚水	φ400	23.2	2	46.4		2	46.4			
	〃	φ700	50.3	1	50.3		1	50.3			
	〃	φ900	110	2	220.0		—	—	—		
	雨水	φ1,350	260	—	—	—	1	260	4.3		
	〃	φ1,350	330	3	990	16.5	2	660	11.0		
	〃	φ1,500	348	—	—	—	2	696	11.6		
	〃	φ1,500	366	2 (1)	732 366	12.2 6.1	— —	— —	— —		
	(山田系)										
	雨水	φ1,000	138	—	—	—	1	138	2.3		
	〃	φ1,200	160	—	—	—	4	640	10.7		
	〃	φ1,350	168	1	—	2.8	—	—	—		
〃	φ1,500	204	4 (1)	816 204	13.6 3.4	— —	— —	— —			
摂津 ポンプ場	汚水	φ450	20.8	1	20.8		—	—		安威川 79.1	
		φ450	27.4	—	—	—	1	27.4			
	〃	φ500	32.2	2 (1)	64.4 (32.2)		2	64.4			
	雨水	φ2,000	563	4	2,252	37.5	6	3,378	75.0		
				4	2,688	44.8	2	1,344	22.4		
	〃	φ2,000	672	(1)	672	11.2	—	—	—		
	〃	φ1,650	384	—	—	—	1	384	6.4		
〃	φ1,650	476.2	1	476	7.9	—	—	—			

※()書きは予備であり、内書きです。

②ポンプ

ポンプ場 名	全体計画						令和6年度末			計画 放流量 (放流先) (m³/秒)	
	用途	口径 (mm)	1台当り 揚水量 (m³/分)	台数 (台)	揚水量		台数 (台)	揚水量			
					(m³/分)	(m³/秒)		(m³/分)	(m³/秒)		
中央 水みらい センター	(A-1系)										
	汚水	φ 900	102.5	1	102.5		1	100		安威川 49.6	
	〃	φ 900	102	2	204		—	—	—		
		φ 500	30	—	—		1	30			
		φ 400	20	—	—		1	20			
	(A-2系)										
	汚水	φ 700	73.5	3	220.5		3	220.5			
	〃	φ 800	75	1	75.0		1	75			
	〃	φ 800	80	3 (1)	240 (80)		2 (1)	160 (80)			
	〃	φ 1,200	220	1	220		1	220			
	〃	φ 1,200	255	1	255		1	255			
	雨水	φ 1,500	341	2	682	11.4	—	—	—		
	〃	φ 1,650	476.4	4	—	—	3	1,429	23.8		
	〃	φ 1,650	336	—	—	—	1	336	5.6		
	〃	φ 1,650		2	960	16.0	2	960	16.0		
	〃	φ 1,650	480	(1)	480	8.0	—	—	—		
	〃	φ 1,500	341	—	—	—	2	682	11.4		

※（ ）書きは予備であり、内書きです。

③ 水みらいセンター

施 設 名		全体計画			令和6年度末
水処理施設		処理能力		329,400m³/日	256,110m³/日
汚泥 処 理 施 設	濃縮設備	重力濃縮	内 径 14.0m × 深 3.5m	3槽	0槽
			内 径 9.1m × 深 3.5m	—	2槽
			内 径 20.9m × 深 3.5m	—	2槽
		ベルト型濃縮	80m³/時	3(1)台	2台
			40m³/時	1台	
		遠心濃縮	—	—	4(2)台
	脱水機	スクリーンプレス	975kg/時	3(1)台	2(1)台
			399kg/時	1台	0台
		ベルトプレス	110kg/m/時	—	4台
	焼却炉	流動焼却炉	125t/日	2基	0基
			100t/日	— —	1基
		熔融炉	110t/日	— —	1基

※（ ）書きは予備であり、内書きです。



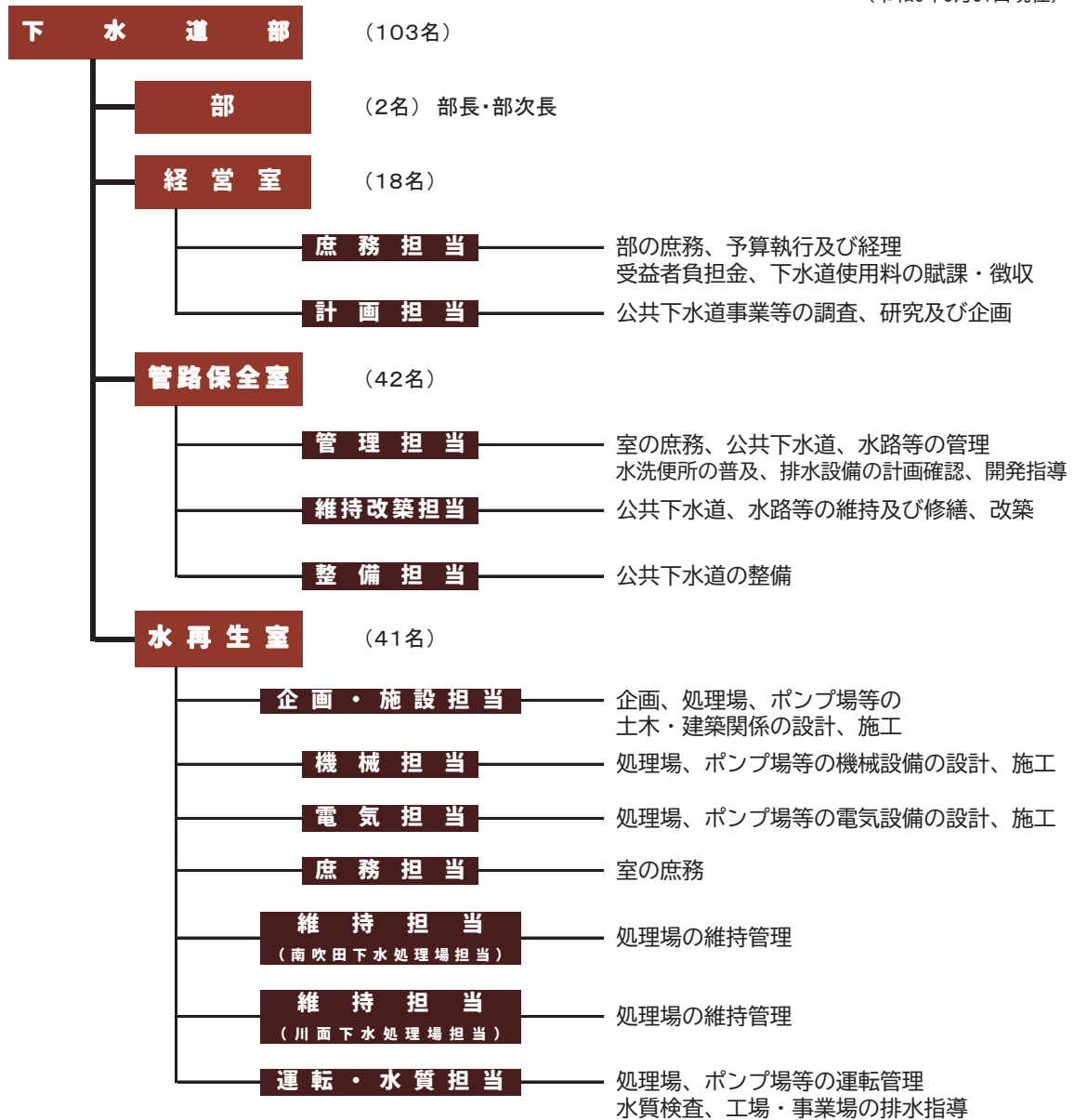
10 組織と職員

「Panasonic Stadium Suita」にて

10 組織と職員

(1) 組織

(令和8年3月31日現在)



(2) 職員

(単位：人)

年度 会計区分	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
企業会計	98	96	94	93	94
一般会計	9	9	9	9	9
合計	107	105	103	102	103



11 広報 「見せる化」

11 広報「見える化」

(1) 広報媒体設置

ア デザインマンホール蓋

平成 29 年度（2017 年度）より、広報の素材としてデザインマンホールに着目し、若手職員を中心に「吹田市の特長」を捉えたデザインを検討。「コラボ」「自然」「鉄道」をキーワードに設置している。

年 度	個 数	設 置 場 所
平成 29 年度（2017 年度）	3	① ガンバボーイ&すいたん（万博記念公園）、② 三色彩道、③ 万博記念公園駅
平成 30 年度（2018 年度）	3	④ 桃山台駅、⑤ 江坂駅、⑥ JR 吹田駅
令和元年度（2019 年度）	3	⑦ 北千里駅、⑧ 阪急山田駅、⑨ 阪急吹田駅 ※設置は令和 2 年度
令和 2 年度（2020 年度）	4	⑩ 南千里駅、⑪ 関大前駅、⑫ 豊津駅、⑬ JR 吹田貨物ターミナル駅
令和 3 年度（2021 年度）	3	⑭ 岸辺駅、⑮ 南吹田駅、⑯ 千里山駅
令和 4 年度（2022 年度）	2	⑰ モノレール山田駅、⑱ 公園東口駅
令和 5 年度（2023 年度）	3	⑲ せせらぎの道、⑳ 江坂公園、㉑ 桃山公園
令和 6 年度（2024 年度）	3	㉒ こもれび通り、㉓ フラワーロード、㉔ 江坂ウエストサイドストリート
令和 7 年度（2025 年度）	3	㉕ モフレム&すいたん（万博記念公園）、㉖ メロード通り、㉗ 水鳥の道
計	27	

イ 大阪・関西万博機運醸成デザインマンホール蓋

万博（令和 7 年度（2025 年度））の機運醸成と、EXPO' 70 開催の地である吹田市の再発見を目的として都市魅力部と共同で蓋を作成。EXPO' 70 ゆかりの地や万博の趣旨に合致した施設周辺などに、令和 5～7 年度に計 9 か所に設置。

年 度	設 置 場 所	由 来 等
令和 5 年度(2023 年度)	万博記念公園	EXPO' 70 開催地
	中央図書館	ニュージーランド館の壁画とオブジェが設置
	豊津公園	「太陽の塔」の岡本太郎氏の作品「リオちゃん」が設置
令和 6 年度(2024 年度)	メイシアター	カナダ館のレリーフ「イヌイットの像」が設置
	UR 千里竹見台団地	EXPO' 70 関係者宿舎となった「スターハウス」
	健都	先進的な健康・医療のまちづくりを進めている地域
	大阪大学グローバルビレッジ津雲台	国際的な生活環境や地域交流で人材を育成する施設
	関西大学吹田みらいキャンパス	多様な人々が集い、「みらい」を描くキャンパス
令和 7 年度(2025 年度)	吹田市役所本庁	2023 年から市内イベントを巡回していた蓋を設置

(2) 広報活動

ア マンホールカード配布

平成 30 年（2018 年）4 月からマンホールカードを「Inforest すいた」で配布開始。令和 6 年（2024 年）11 月からは、千里ニュータウン情報館にて配布。

マンホールカード 配布数

（単位：枚）

年 度	Inforest すいた 千里 NT 情報館	各種イベント	年度計	累 計
平成 30 年度（2018 年度）	9,125	1,071	10,196	10,196
令和元年度（2019 年度）	4,595	781	5,376	15,572
令和 2 年度（2020 年度）	1,919	36	1,955	17,527
令和 3 年度（2021 年度）	1,786	532	2,318	19,845
令和 4 年度（2022 年度）	2,920	256	3,176	23,021
令和 5 年度（2023 年度）	3,074	105	3,179	26,200
令和 6 年度（2024 年度）	3,109	294	3,403	29,603
令和 7 年度（2025 年度）	3,090	772	3,862	33,565
計	29,618	3,947		

イ 「下水道の日」パネル展（会場：本庁ロビー）

平成 30 年度（2018 年度）から「下水道の日（9 月 10 日）」を啓発するためパネル展を開催。職員や関係者が収集した「マンホールカード」やテーマに基づいた写真、イラストで作成したパネルを展示、期間中は手作り啓発品（缶マグネットなど）やマンホールカードも配布。

年 度	開催期間 (土日除く)	テーマ	アンケート 回収数	概 要
平成 30 年度（2018 年度）	9/10～9/14	下水道を知る	未確認	下水道施設の紹介
令和元年度（2019 年度）	9/9～9/13	あなたの知らない下水道の世界	未確認	下水道の仕組みと役割
令和 2 年度（2020 年度）	9/7～9/11	下水道を楽しもう	351	下水道施設の中は？
令和 3 年度（2021 年度）	9/6～9/10	マクロでミクロな世界	228	微生物にスポット
令和 4 年度（2022 年度）	9/5～9/16	吹田市デザインマンホール蓋 鉄道シリーズ完結	886	鉄道蓋レプリカ展示
令和 5 年度（2023 年度）	9/6～9/15	吹田の下水道の今	94	動画とパネルで紹介
令和 6 年度（2024 年度）	9/6～9/13*	下水道の役割を深掘り	24	動画とパネルで紹介
令和 7 年度（2025 年度）	9/8～9/19	下水道の維持管理	210	動画とパネルで紹介

*令和6年度は庁舎改装工事のため、低層棟連絡通路で開催

ウ 下水道フェア（会場：Inforest すいた）

・令和3年（2021年）6月1日～30日に、「吹田市下水道部&シェアサイクルフェア」として開催。来場者は163名（アンケート回答数）

・令和5年（2023年）2月17日～3月26日に、「デザインマンホールとすいたフェア」として開催。来場者は24,437名。人パネル9枚展示、鉄道蓋レプリカ16基の展示、府内マンホールカード展示。

3月4日に、デザインマンホール塗り絵を実施。4回で59名の参加。

3月10日～12日に、デザインマンホールの「すいたんを探せ！」クイズを実施。105名の参加。

※Inforest すいたは令和6年10月30日閉館。

エ 下水道展（会場：インテックス大阪）

・令和3年（2021年）8月17日～20日に、下水道展が大阪で開催。豊中市、高槻市と共同で大阪北摂中核市として出展。ブースの見学者約850名（アンケート回答数）

オ デジタルスタンプラリー

・令和5年（2023年）3月1日～3月26日に、市内全16駅とコラボした鉄道蓋の全駅設置の完了の記念としてデジタルスタンプラリーを開催。参加者581名。

参加賞（5駅以上獲得者）：309名にオリジナルノベルティを贈呈。

コンプリート賞：応募総数202名のうち、抽選で100名にオリジナルノベルティと鉄道各社提供ノベルティを贈呈

・令和5年（2023年）12月1日～令和6年（2024年）3月24日に、都市魅力部シティプロモーション推進室主催「2025大阪・関西万博機運醸成スタンプラリー」のスタンプポイントとして、市内3か所に設置した大阪・関西万博機運醸成デザインマンホール蓋を提供。参加者484名。

カ 大阪マンホール EXPO

主催は、令和4年度（2022年度）に広域化共同化の一つとして、大阪府、大阪市内含む府内市町村で発足した「大阪広報ぱらっとホーム」。吹田市はコアメンバーの一員として参画。

・令和5年（2023年）10月21日～22日に、大阪市下水道科学館（此花区）で体験、学び、遊びを通して下水道をPR、2日間で596名が見学（アンケート回答者数）

・令和6年（2024年）11月16日～17日に、令和5年度と同様の内容で開催、2日間で880名が見学（アンケート回答者数）

・令和7年（2025年）10月25日～26日に、イオンモール堺北花田で体験、学び、遊びを通して下水道をPR、2日間で3,200名が見学（アンケート回答者数）

キ ゆいびあ夏まつり（会場：夢つながり未来館）

下水道にちなんだゲームを実施し、参加者にオリジナルグッズをプレゼント。

・令和5年（2023年）9月3日開催 まつりの来場者776人 下水道部ブース来場者563人

・令和6年（2024年）8月25日開催まつりの来場者580人 下水道部ブース来場者371人

・令和7年（2025年）8月31日開催まつりの来場者766人 下水道部ブース来場者478人

ク スタジアムフェスタ（会場：Panasonic Stadium Suita）

都市魅力部文化スポーツ推進室主催のイベント。吹田市啓発コーナーで下水道のPRを実施。

・令和6年（2024年）6月1日開催、5年ぶりに参加。全体入場者約3,000人、下水道部ブース189人（アンケート回答者）。デザインマンホール、大阪・関西万博機運醸成デザインマンホール蓋をPR。アンケート回答者にグッズとマンホールカード配布したほか、下水道Instagramを動画で紹介。フォロワーにはオリジナルトイレトペーパーを配布。

・令和7年（2025年）6月15日開催。下水道部ブース199人（アンケート回答者）。スタジアム建設10周年記念マンホール蓋を展示、記念グッズを配布。また、下水道Instagramを上映し、フォロワーにオリジナルトイレトペーパーを進呈。

ケ その他

・令和7年（2025年）3月26日～28日、メイシアター（展示室）パッチワーク教室作品展でデザインマンホール蓋をPR。キルト製マンホールと共演。

（3）広報誌掲載等

ア 市報「すいた」

- ・令和2年12月号巻頭カラーページ。吹田市下水道事業60周年「吹田の下水道のこれまでとこれから」
- ・令和4年9月号 「下水道の日パネル展」
- ・令和5年3月号 「市内16駅すべてに設置 鉄道デザインのマンホール蓋」
- ・令和5年9月号 「吹田の下水道を知る1カ月」 見開き2ページカラーで4行事を掲載。
- ・令和5年10月号 「大阪マンホール EXPO」
- ・令和6年9月号 「下水道の日パネル展～下水道を深掘り！」
- ・令和6年10月号 「大阪マンホール EXPO2024」
- ・令和7年9月号 「新ガンバ蓋」
- ・令和7年10月号 「大阪マンホール EXPO2025」

イ TV放送等

①「お元気ですか！市民のみなさん」

- ・平成30年11月前半号【特集】 「あなたの知らない下水道の世界」（令和2年7月後半号にリピー特放送）
- ・令和3年3月後半号【特集】 「いま、マンホール蓋がアツい！」
- ・令和5年6月7日 JCOM ライブニュース「チョット知っとこ！下水の事」

②「吹ちゅ〜ぶ」配信

- ・令和6年2月 #21 「伝えたい下水道の魅力」
- ・令和6年5月 #36 「潜入！水再生センター施設見学会」

(4) 見学会等

ア 水再生センター施設見学

- ・ 下水処理についての説明と、実際の処理工程の見学。
- ・ 令和5年度より、土曜日開催で「水再生センター施設見学会」（年2回）を公募で実施。

対 象	年 度	一般（大学含む）	小・中・高等学校	水再生センター 施設見学会
令和元年度（2019年度）		61人	0校（0人）	—
令和2年度（2020年度）		中止※	中止※	—
令和3年度（2021年度）		中止※	中止※	—
令和4年度（2022年度）		31人	1校（95人）	—
令和5年度（2023年度）		79人	5校（403人）	70人
令和6年度（2024年度）		105人	0校（0人）	118人
令和7年度（2025年度）		82人	2校（159人）	104人

※令和2～3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

イ 工事現場見学会

① 雨水レベルアップ整備工事

- ・ 平成30年 6月 1日 一般市民 88名（公募）
- 6月 9日 小学生 42名
- 12月 14日 大学生 14名

② 岸部幹線シールド工事

- 坑内ツアー、セグメントお絵描き、重機への乗車体験などを実施。
- ・ 令和5年9月24日 693名（アンケート回答者）

ウ 夏休み特別講座 下水道サイエンスラボ

- 夏休み期間中に水環境を学ぶ小学4～6年生と保護者を対象に顕微鏡を使った微生物観察などを実施。
- ・ 令和6年度 8組 25名（2日間で2回実施）
 - ・ 令和7年度 20組 55名（2日間で4回実施）

エ 出前授業

- 職員が学校へ出向き、下水道についての授業を実施。
- ・ 令和5年度 吹田第三小学校、豊津第二小学校
 - ・ 令和6年度 吹田第二小学校、吹田東小学校、山田第一小学校
 - ・ 令和7年度 藤白台小学校、千里第一小学校、津雲台小学校

(5) 広報素材

- ・下水道部オリジナルトイレットペーパー
- ・下水道フォトコレクション（パンフレット） ＊令和元年度作成。
- ・缶バッジ&マグネット（オリジナル） ＊イベントに合わせて作成。
- ・デザイン蓋マップ（A4） ＊新規設置毎に作成。
- ・南吹田水再生センターパンフレット作成

(6) SNS活用

①吹田市動画配信チャンネルで動画配信(YouTube)

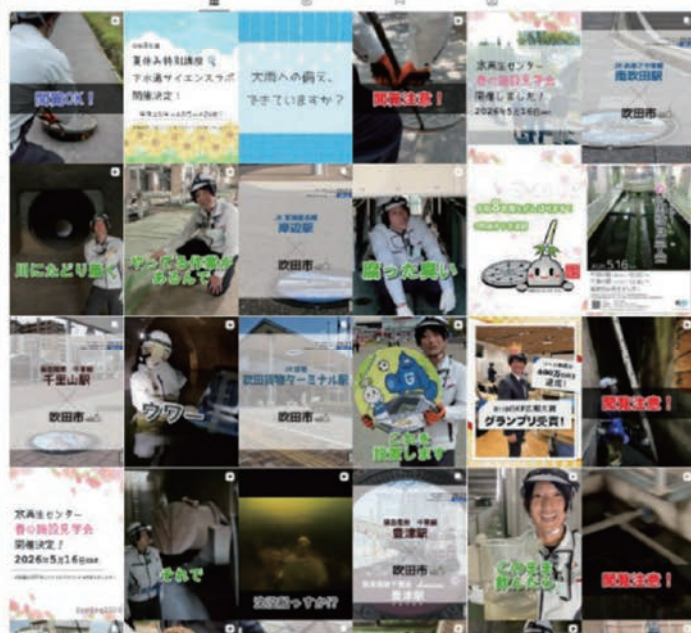


②吹田市下水道部【公式】Instagram で情報発信

令和6年度 下水道部公式 Instagram を開設（写真右）し、イベントなどのお知らせや下水道の生々な現場動画（写真左上段）を投稿。

令和7年度

下水道広報プラットフォーム（GKP）主催
「第13回 GKP 広報大賞」グランプリ受賞
（写真左下段）。



(7) 官学連携

- ・令和4年4月～令和5年2月の期間で大阪学院大学×吹田市「下水道プロジェクト」において、学生と下水道に関するショート動画を作成（20本）し、SNS（TikTok, YouTube, Instagram）で配信。



- ・令和4年度「関西大学 SDGs パートナー制度」に登録。
- ・令和4年11月21日(月)～12月3日(土)に関西大学 SDGsWEEKs にパネル展示。
- ・令和5年度～令和6年度 J: com ネット動画「ジモトトピックス・下水道部の取り組み」（関西大学の学生が作成）に協力。

吹田市下水道年報

—令和 7 年度（2025 年度）版—

令和 8 年（2026 年）9 月発行

編さん「吹田市下水道年報」作成作業部会

発行所 吹田市泉町 1-3-40

吹田市下水道部経営室

☎ 06（6384）2080

fax 06（6368）9903

※特に表記のない限り令和 8 年（2026 年）3 月 31 日時点のデータをもとに作成しています